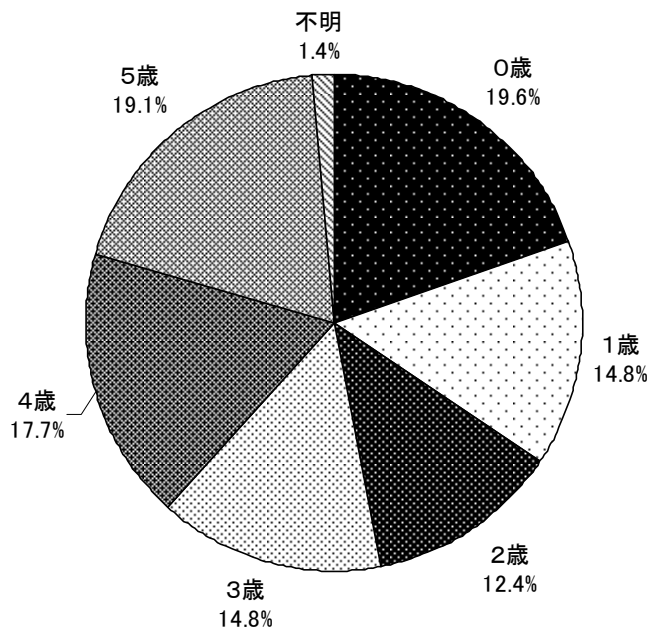


## 第2章 調査結果（就学前児童）

### 問1 宛名のお子さんの年齢

お子さんの年齢をみると、「0歳」19.6%が最も多く、次いで「5歳」19.1%、「4歳」17.7%、「1歳」14.8%、「3歳」14.8%、「2歳」12.4%の順となっています。

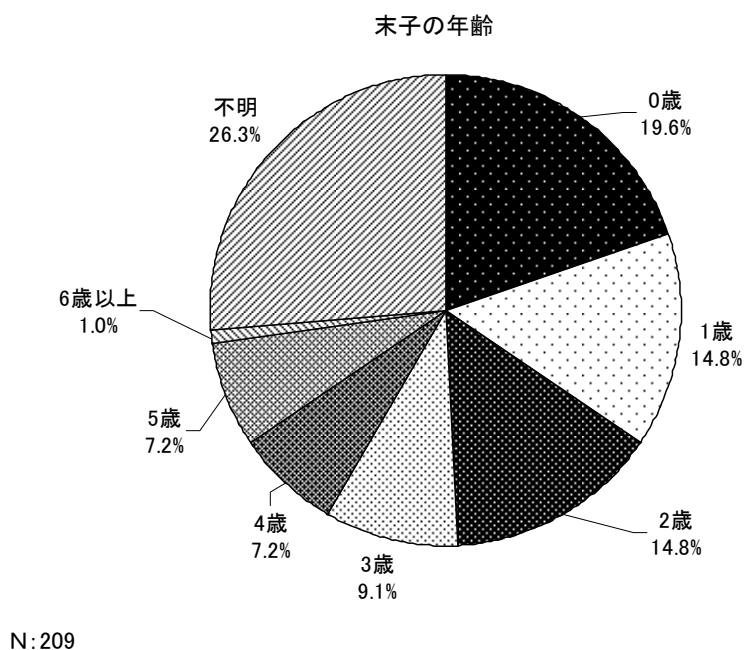
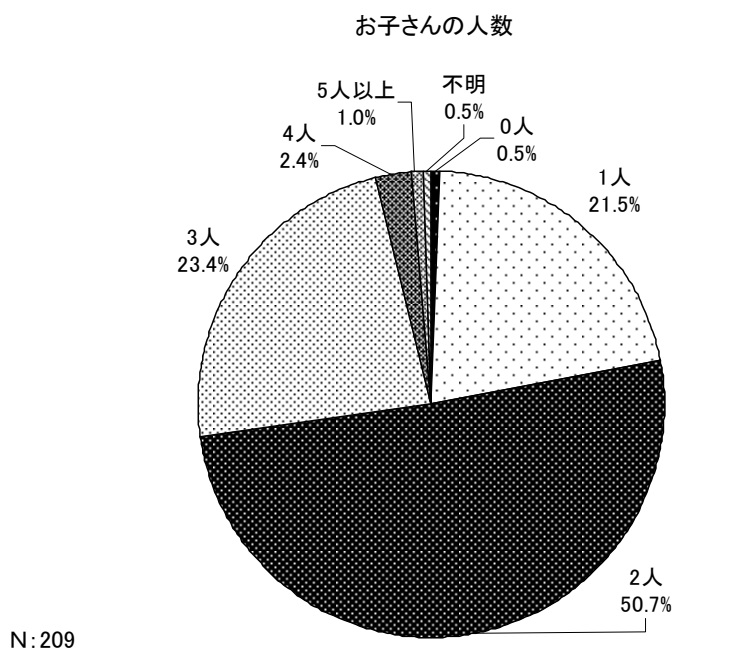


N:209

## 問2 お子さんの人数

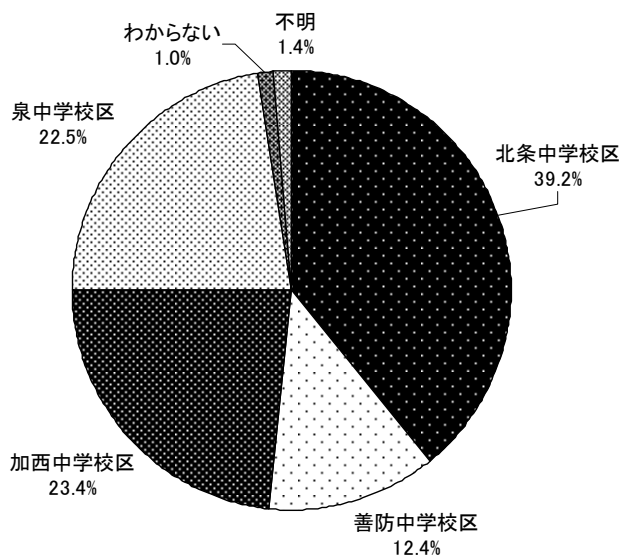
お子さんの人数をみると、「2人」50.7%が最も多く、次いで「3人」23.4%、「1人」21.5%の順となっています。

また、末子の年齢をみると、「0歳」19.6%が最も多く、次いで「1歳」、「2歳」14.8%の順となっています。



### 問3 お住まいの中学校区

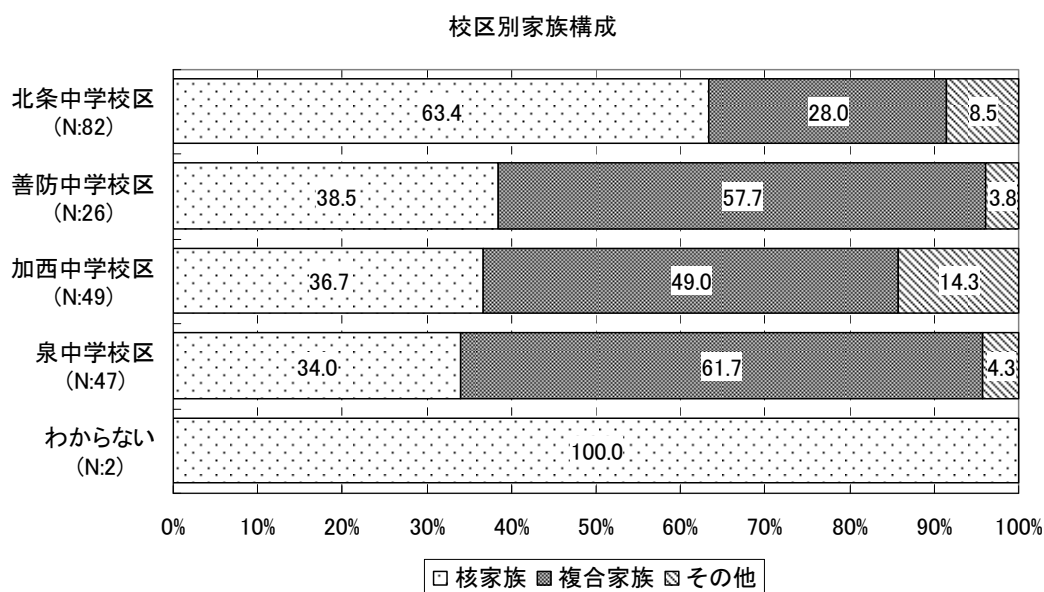
お住まいの中学校区をみると、「北条中学校区」39.2%が最も多く、次いで「加西中学校区」23.4%、「泉中学校区」22.5%、「善防中学校区」12.4%の順となっています。



N:209

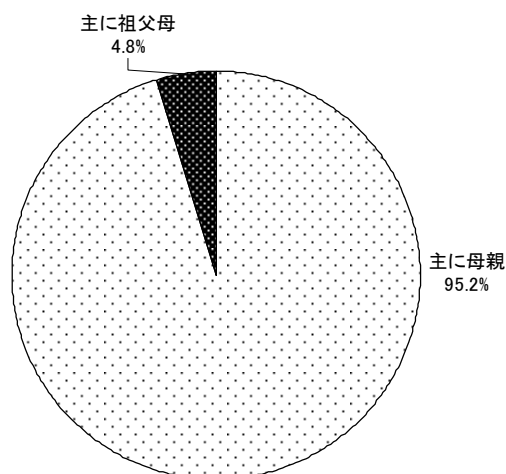
### ■ 家族構成別中学校区（クロス集計）

家族構成別に中学校区をみると、「北条中学校区」では複合家族より核家族の割合が多く、その他の校区では複合家族の割合が多くなっています。



#### 問4 お子さんの身の回りの世話を主にしている方

お子さんの身の回りの世話を主にしている方をみると、「主に母親」が95.2%となっており、「主に祖父母」は4.8%となっています。

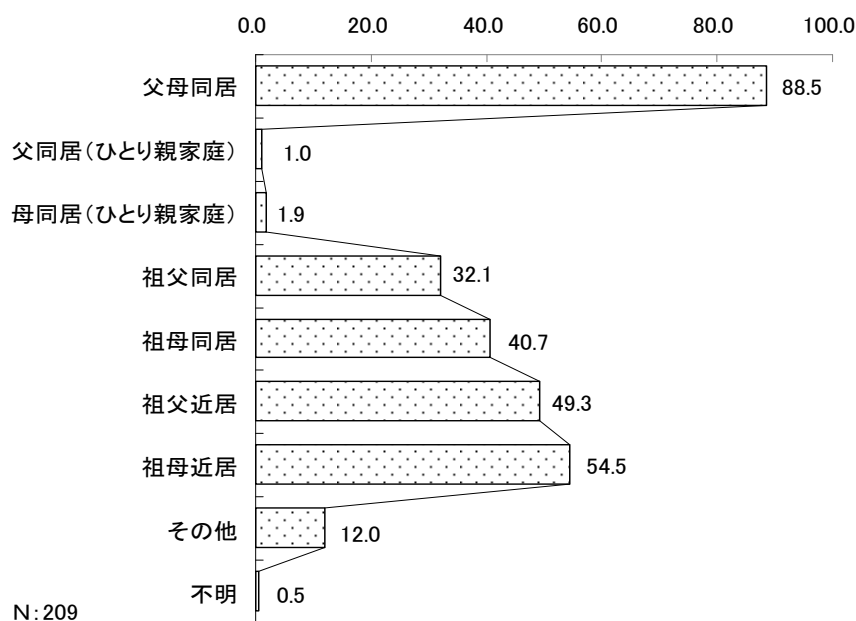


N:209

#### 問5 お子さんとの同居・近居の状況

お子さんとの同居・近居の状況をみると、「父母同居」88.5%が最も多く、次いで「祖母近居」54.5%、「祖父近居」49.3%、「祖母同居」40.7%、「祖父同居」32.1%の順となっています。

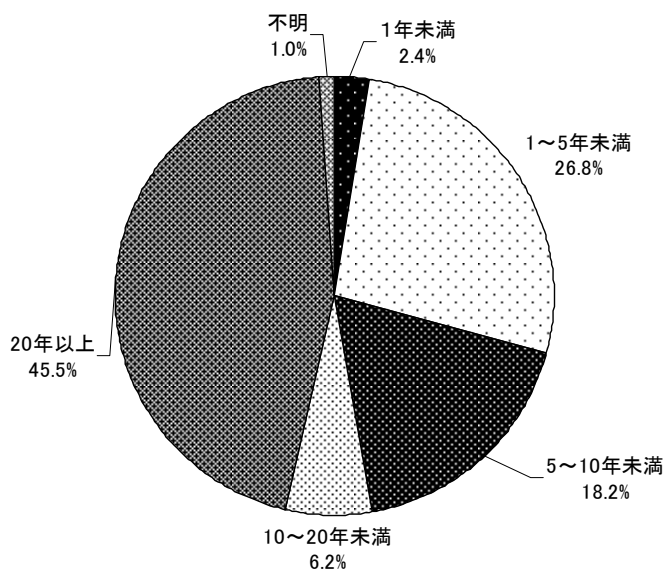
「父同居（ひとり親家庭）」は1.0%、「母同居（ひとり親家庭）」は1.9%となっています。



N:209

## 問6 加西市での居住年数

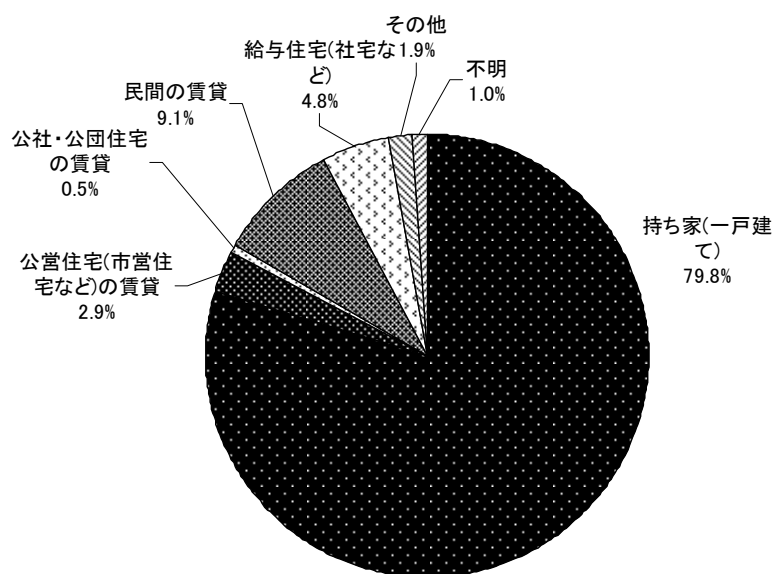
加西市での居住年数をみると、「20年以上」45.5%が最も多く、次いで「1～5年未満」26.8%、「5～10年未満」18.2%、「10～20年未満」6.2%、「1年未満」2.4%の順となっています。



N: 209

## 問7 現在の住まいの形態

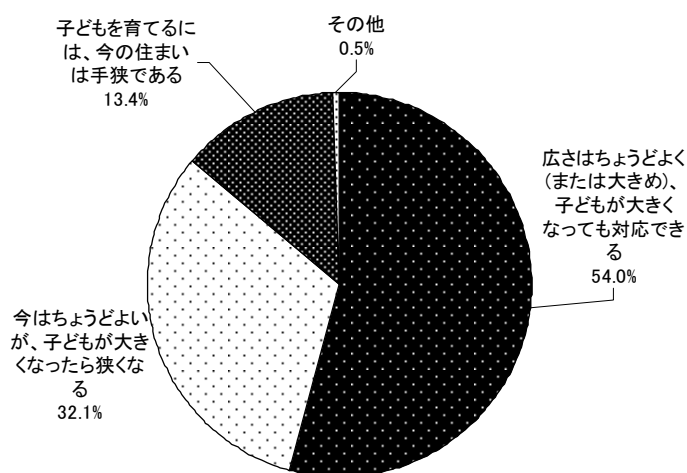
現在の住まいの形態をみると、「持ち家（一戸建て）」79.8%が最も多く、次いで「民間の賃貸」9.1%、「給与住宅（社宅など）」4.8%、「公営住宅（市民住宅など）の賃貸」2.9%の順となっています。



N: 209

## 問8 子育てをする上での住まいの広さについて

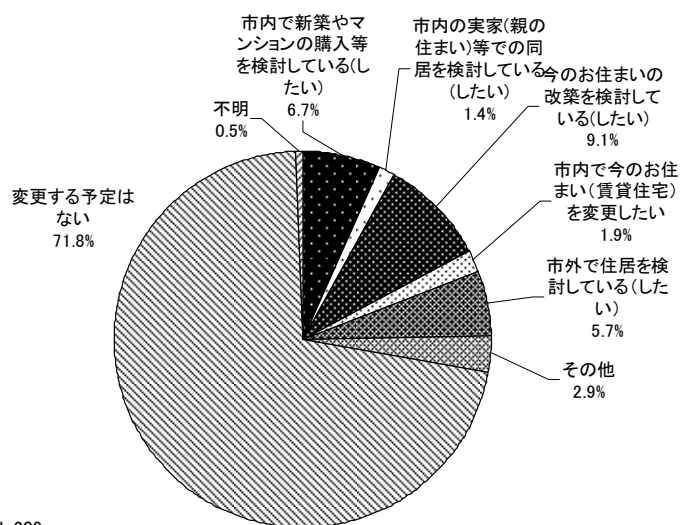
子育てをする上での住まいの広さについてみると、「広さはちょうどよく（または大きめ）、子どもが大きくなっても対応できる」54.0%が最も多く、次いで「今はちょうどよいが、子どもが大きくなったら狭くなる」32.1%、「子どもを育てるには、今の住まいが手狭である」13.4%、「その他」0.5%の順となっています。



N:209

## 問9 5年以内に、住まいを変更する予定

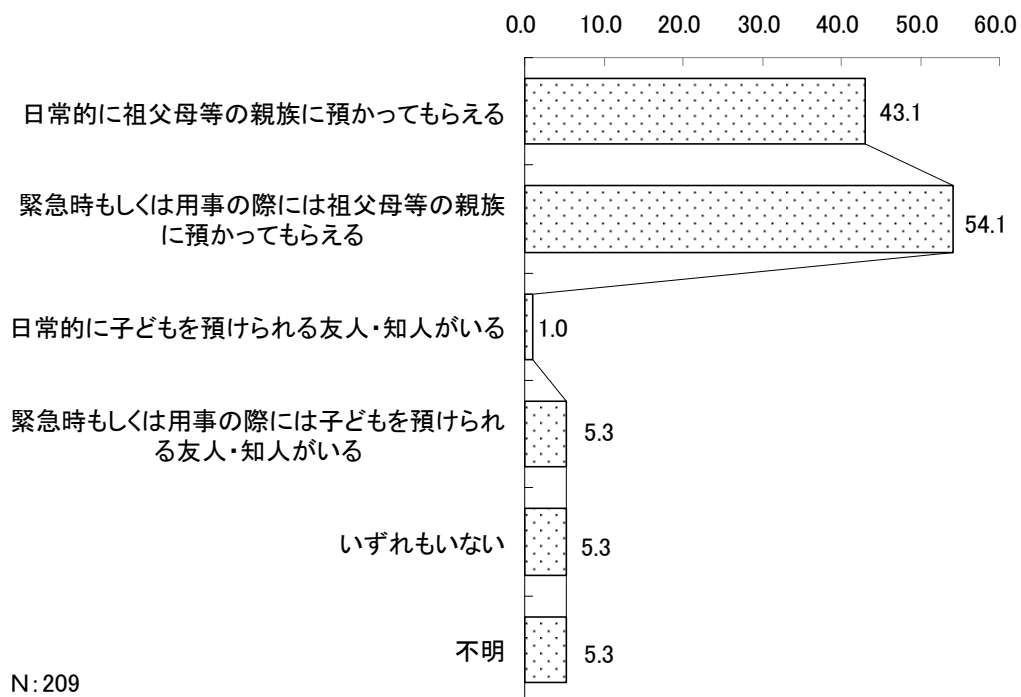
5年以内に、住まいを変更する予定をみると、「変更する予定はない」71.8%が最も多く、次いで「今のお住まいの改築を検討している（したい）」9.1%、「市内で新築やマンションの購入等を検討している（したい）」6.7%、「市内で今のお住まい（賃貸住宅）を変更したい」1.9%、「市外で住居を検討している（したい）」5.7%の順となっています。



N:209

### 問10 日頃、お子さんを預かってもらえる人の有無

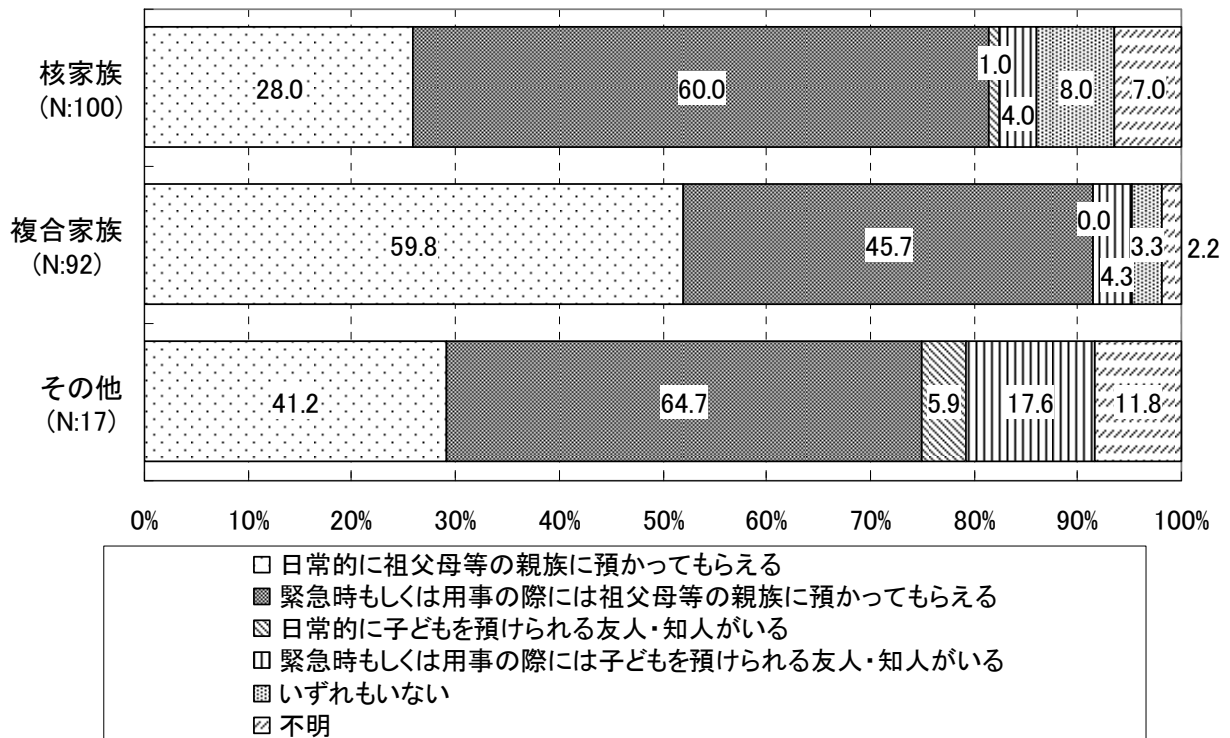
日頃、お子さんを預かってもらえる人の有無をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」54.1%が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」43.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」、「いずれもない」5.3%の順となっています。



## ■ 家族構成別お子さんを預かってもらえる状況（クロス集計）

家族構成別にお子さんを預かってもらえる状況をみると、核家族では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」60.0%が最も多く、複合家族では「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」59.8%が最も多くなっており、家族構成により差がみられます。

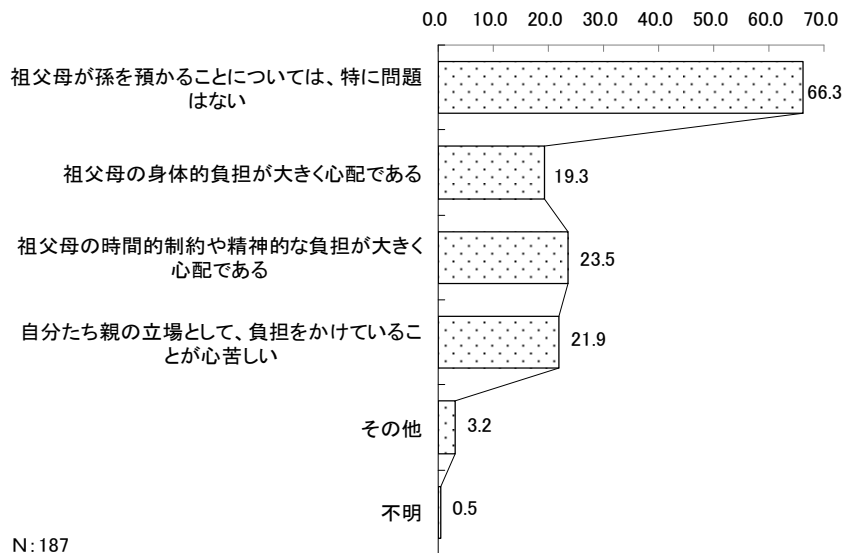
家族構成別子どもの預かり





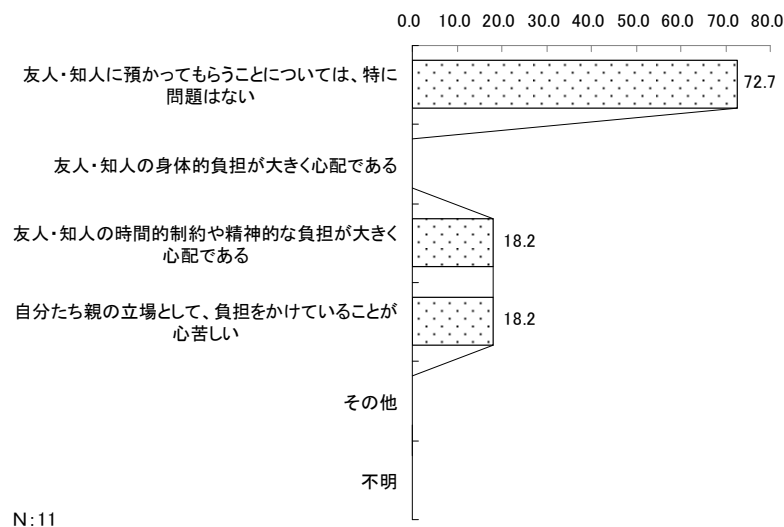
## 問 10-1 祖父母に預かってもらっている状況

祖父母に預かってもらっている状況を見ると、「祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない」66.3%が最も多く、次いで「祖父母の時間的制限や精神的な負担が大きく心配である」23.5%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」21.9%、「祖父母の身体的負担が大きく心配である」19.3%の順となっています。



## 問 10-2 友人や知人に預かってもらっている状況

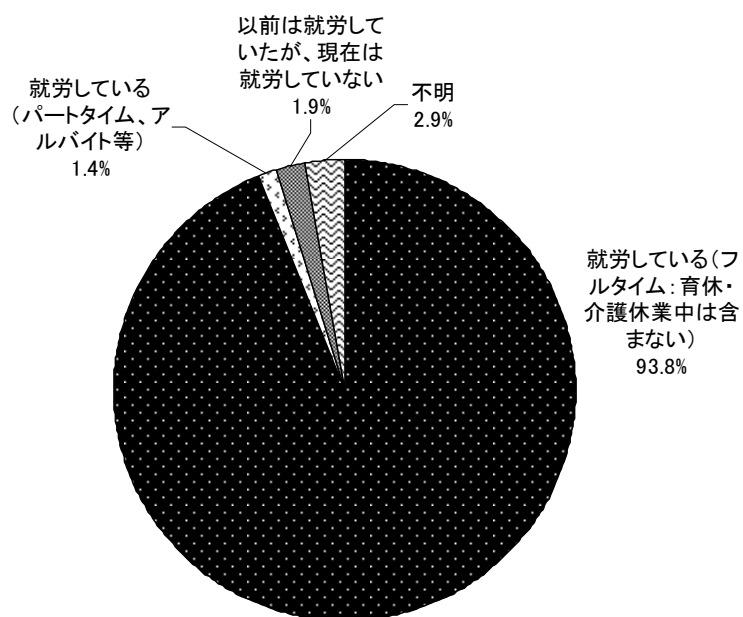
友人や知人に預かってもらっている状況を見ると、「友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」72.7%が最も多く、次いで「友人・知人の時間的制限や精神的な負担が大きく心配である」、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」18.2%の順となっています。



## 問11 現在の就労状況

### 【父親】

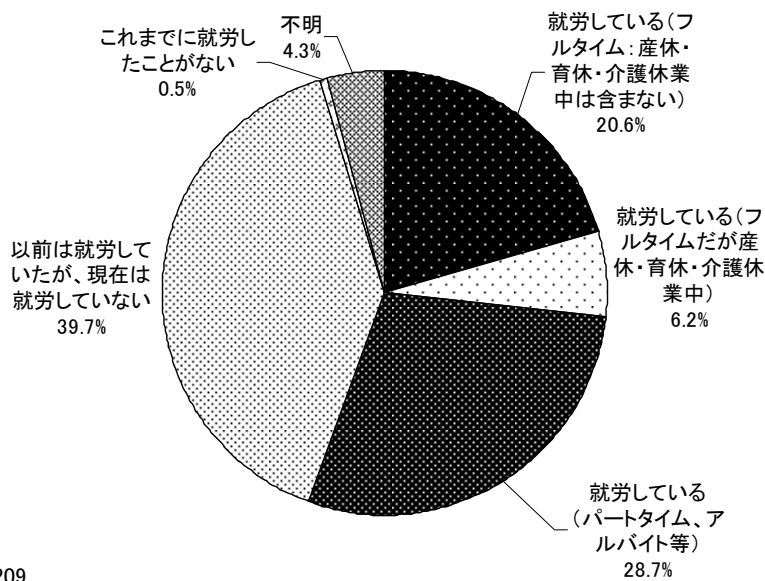
父親の現在の就労状況についてみると、「就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）」93.8%が最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」1.9%、「就労している（パートタイム、アルバイト等）」1.4%の順となっています。



N:209

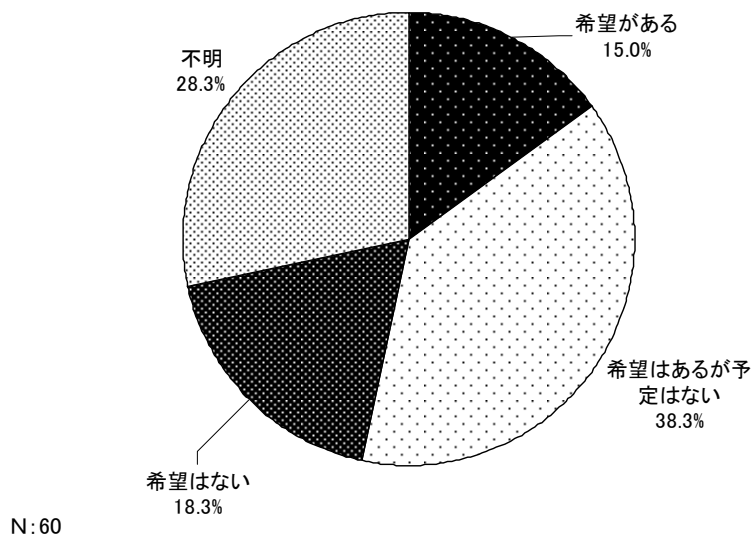
## 【母親】

母親の現在の就労状況をみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」39.7%が最も多く、次いで「就労している（パートタイム、アルバイト等）」28.7%、「就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）」20.6%、「就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中）」6.2%、「これまでに就労したことがない」0.5%の順となっています。



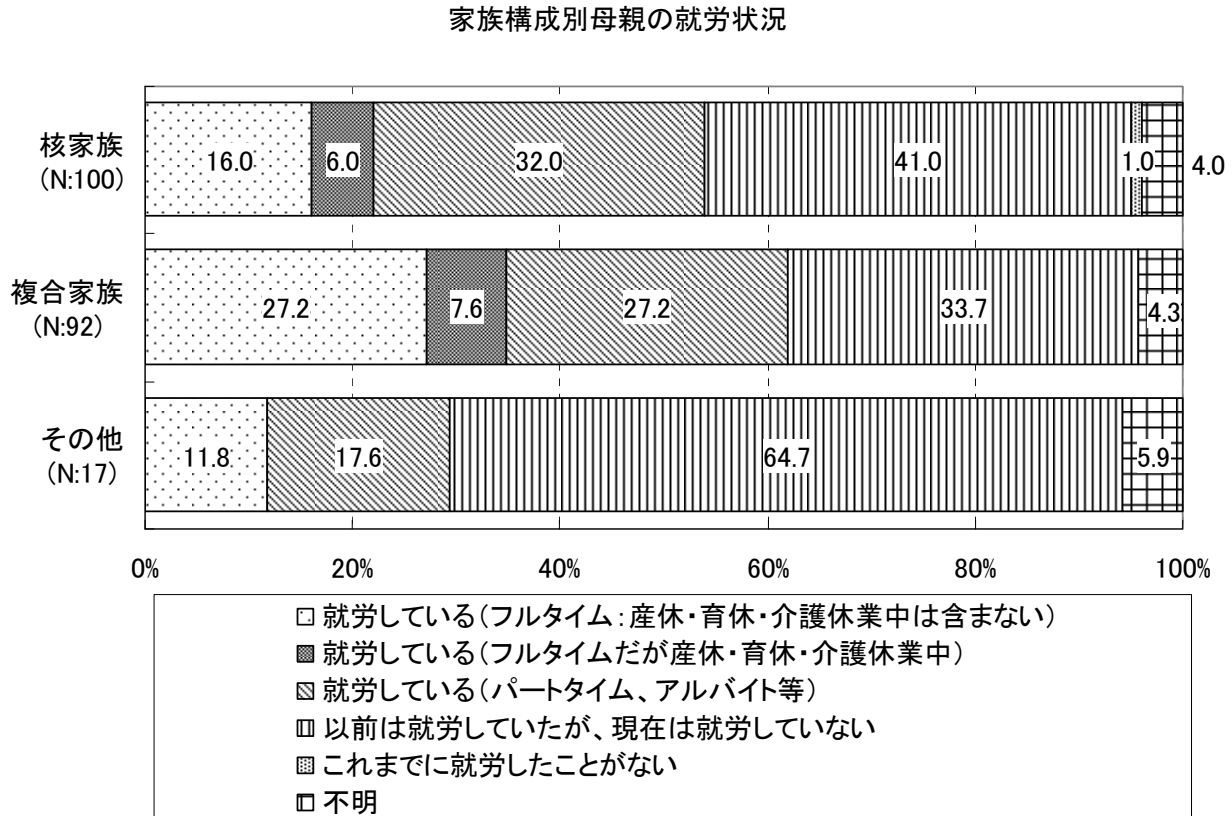
## ■フルタイムへの転換希望

「就労している（パートタイム、アルバイト等）」と回答した方の中でフルタイムへの転換希望をみると、「希望はあるが予定はない」38.3%が最も多く、次いで「希望はない」18.3%、「希望がある」15.0%の順となっています。



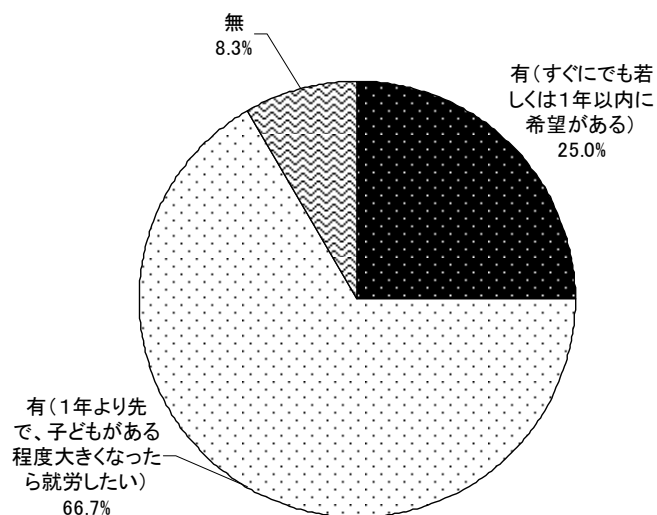
## ■ 家族構成別母親の現在の就労状況（クロス集計）

家族構成別に母親の現在の就労状況をみると、核家族は「就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）」が 16.0%に対し、複合家族では 27.2%と複合家族の方が割合が多く、核家族に比べフルタイムで就労している傾向が高くなっています。



## 問12 母親の就労希望

母親の就労希望についてみると、「有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」66.7%が最も多く、次いで「有（すぐにも若しくは1年以内に希望がある）」25.0%の順となっています。

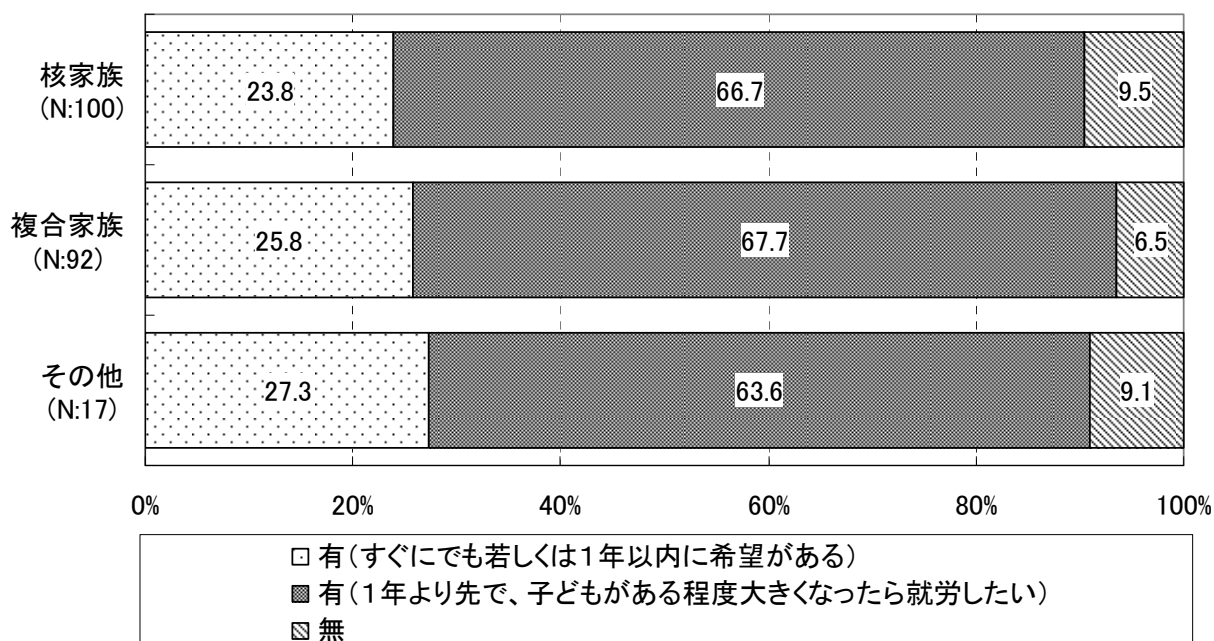


N:84

### ■ 家族構成別母親の就労希望（クロス集計）

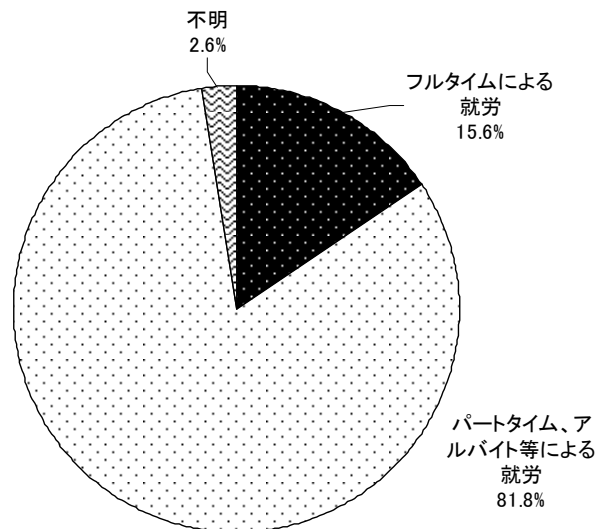
家族構成別に母親の就労希望をみると、核家族・複合家族共に「有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」が6割強となっています。

家族構成別母親の就労希望



## 問 12-1 就労希望の形態

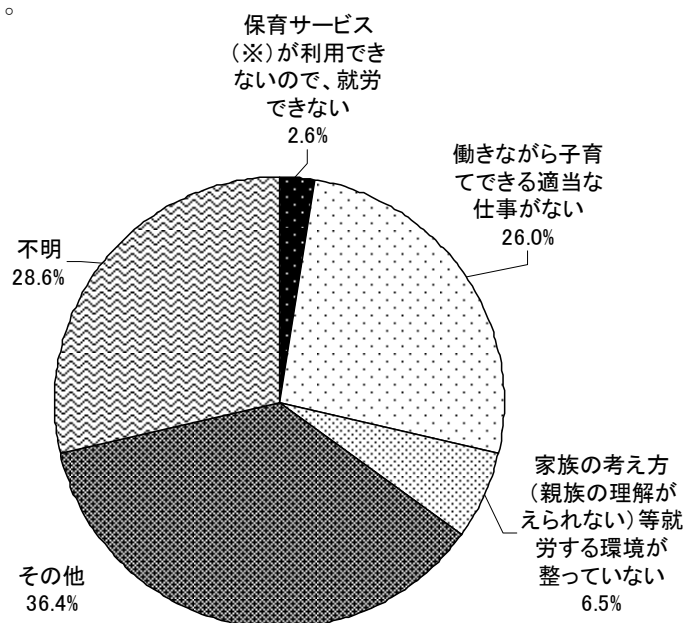
母親の就労希望の形態についてみると、「パートタイム、アルバイト等による就労」81.8%が最も多く、次いで「フルタイムによる就労」15.6%の順となっています。



N:77

## 問 12-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由

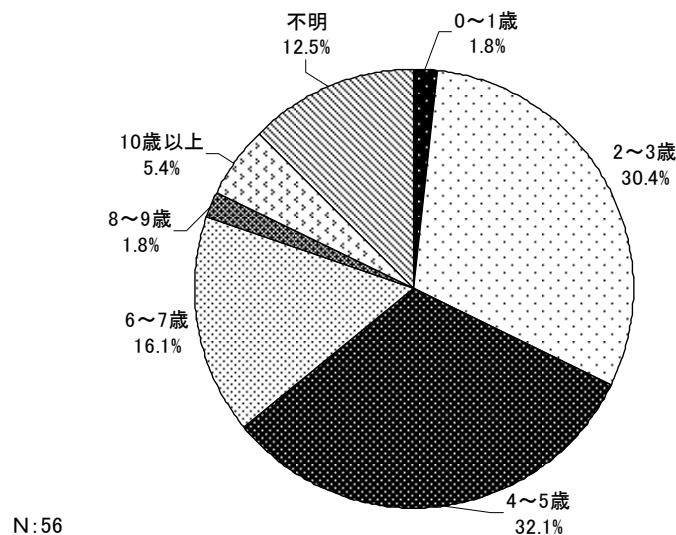
就労希望がありながら、現在働いていない理由についてみると、「その他」36.4%が最も多く、次いで「働きながら子育てできる適当な仕事が無い」26.0%、「家族の考え方（親族の理解がえられない）等就労する環境が整っていない」6.5%、「保育サービスが利用できないので、就労できない」2.6%の順となっています。



N:77

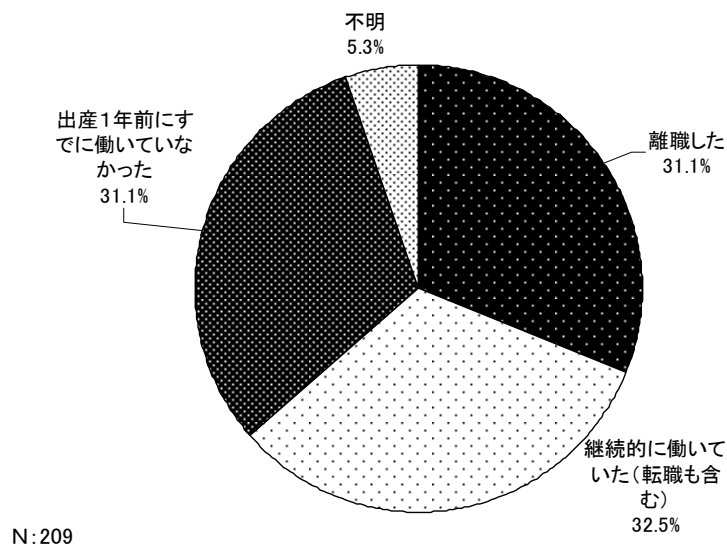
### 問 12-3 一番小さい子が何歳になった時に就労を希望するか

一番小さい子が何歳になった時に就労を希望するかについてみると、「4～5歳」32.1%が最も多く、次いで「2～3歳」30.4%、「6～7歳」16.1%、「10歳以上」5.4%、「8～9歳」1.8%、の順となっています。



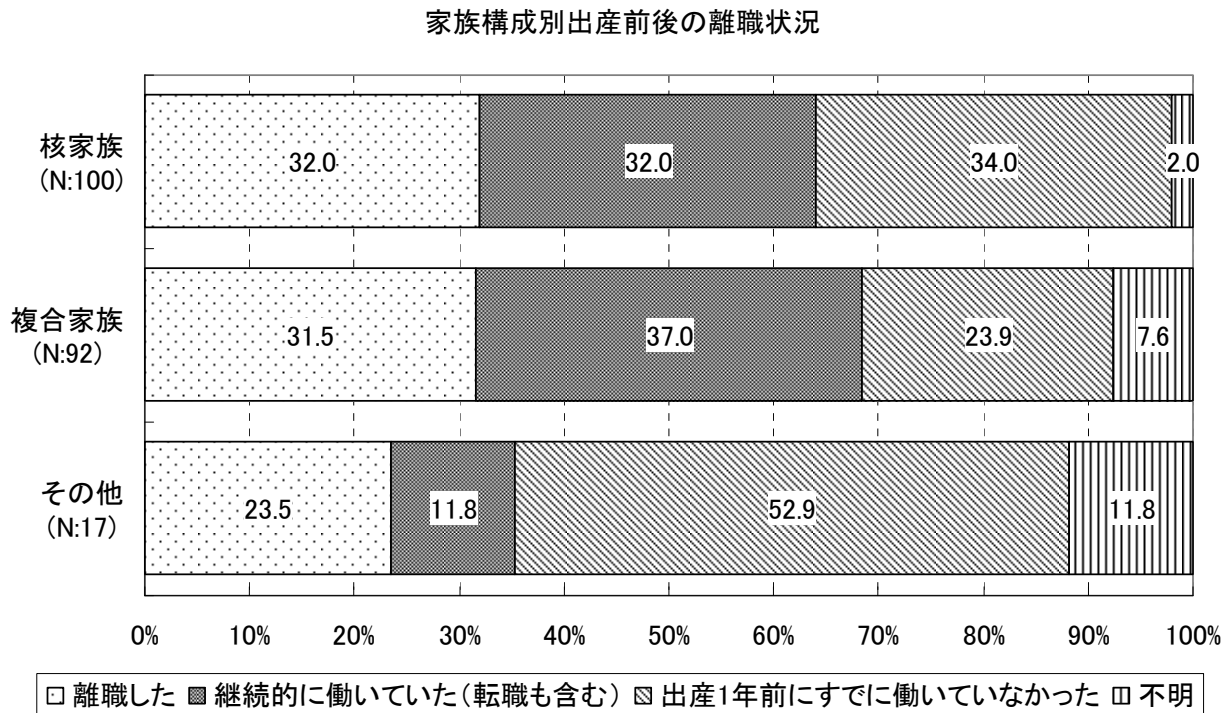
### 問 13 お子さんの出産前後に離職をしたか

お子さんの出産前後の有無をみると、「継続的に働いていた(転職も含む)」32.5%が最も多く、次いで「離職した」、「出産1年前にすでに働いていなかった」31.1%の順となっています。



■ 家族構成別出産前後の離職状況（クロス集計）

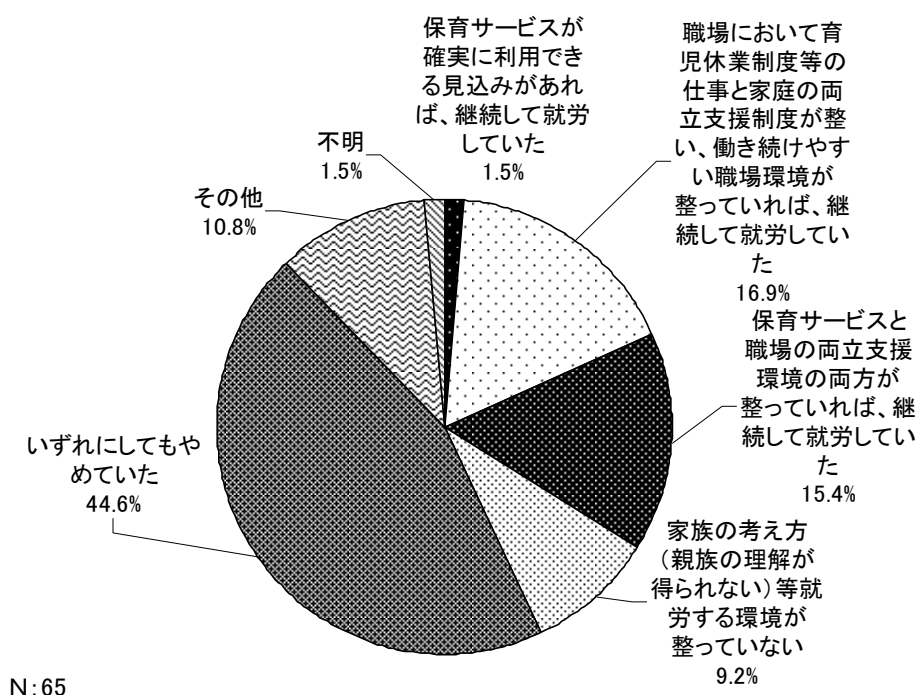
家族構成別に出産前後の離職状況を見ると、核家族は「出産1年前にすでに働いていなかった」34.0%に対し、複合家族では23.9%となっており、核家族の方が複合家族に比べ出産1年前にすでに働いていなかった傾向が高くなっています。





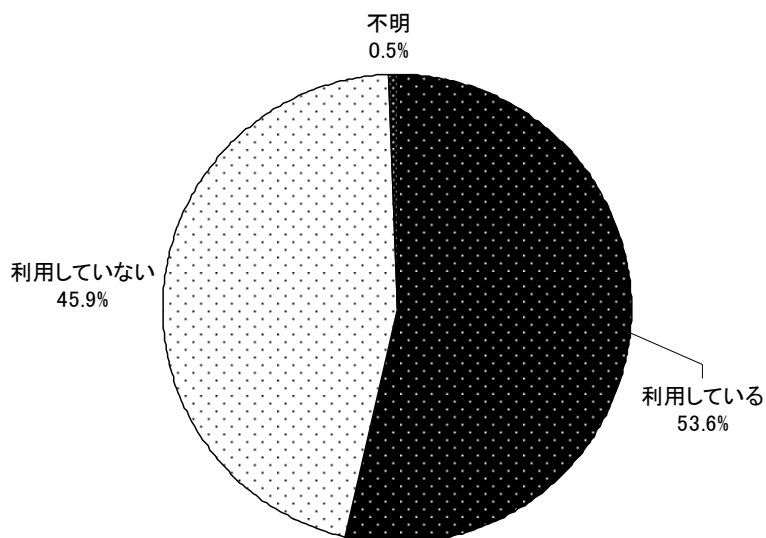
### 問 13-1 就労を継続するための保育サービスや環境

就労を継続するための保育サービスや環境についてみると、「いずれにしてもやめていた」44.6%が最も多く、次いで「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい職場環境が整っていれば、継続して就労していた」16.9%、「保育サービスと職場の両立支援環境の両方が整っていれば、継続して就労していた」15.4%、「家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていない」9.2%、「保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた」1.5%の順となっています。



## 問14 保育サービスの利用の有無

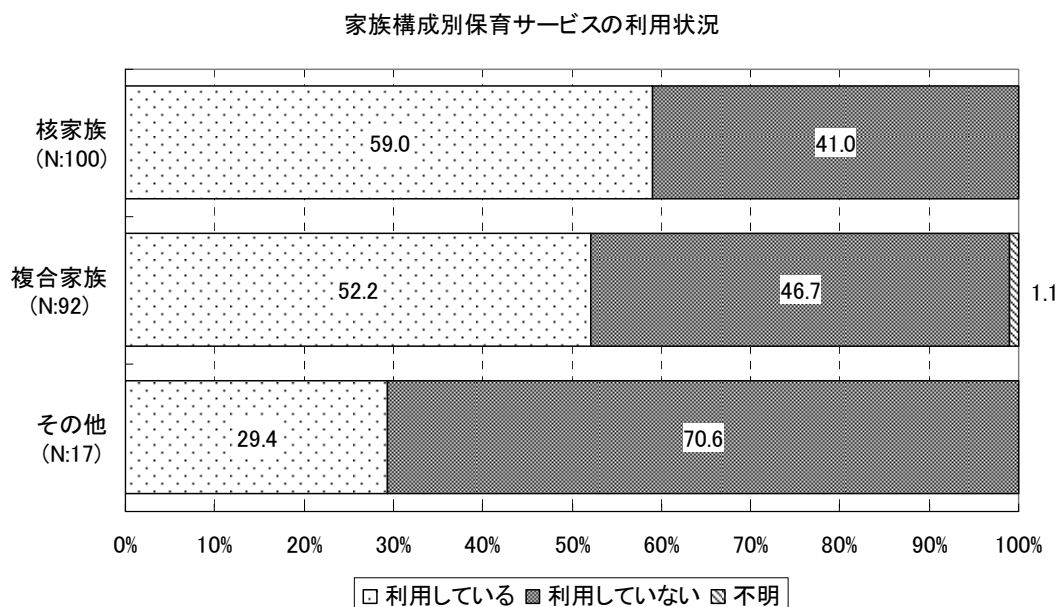
保育サービスの利用の有無についてみると、「利用している」53.6%が最も多く、次いで「利用していない」45.9%の順となっています。



N:209

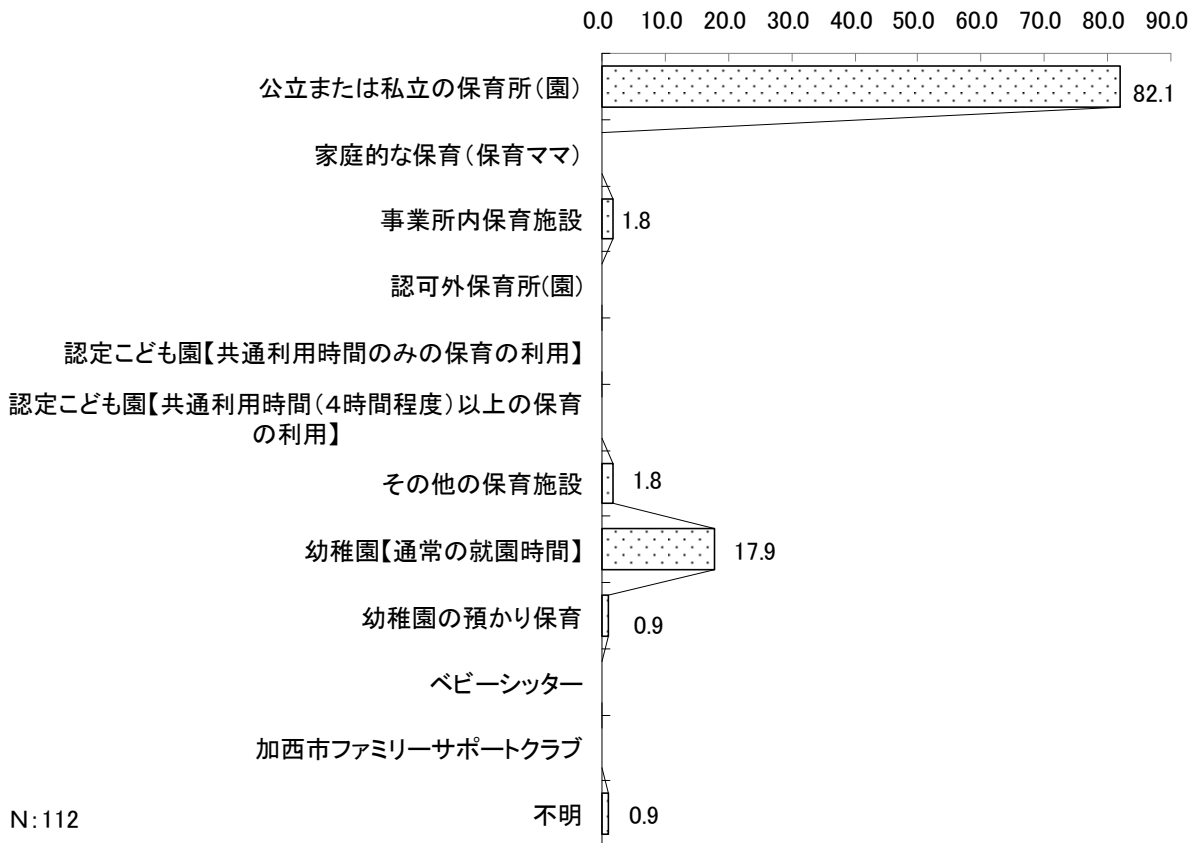
### ■ 家族構成別保育サービスの利用状況（クロス集計）

家族構成別に保育サービスの利用状況をみると、核家族は「利用している」59.0%に対し、複合家族では52.2%となっており、若干、核家族の方が利用している割合が多くなっています。



### 問 14-1 子育て支援サービスの利用状況

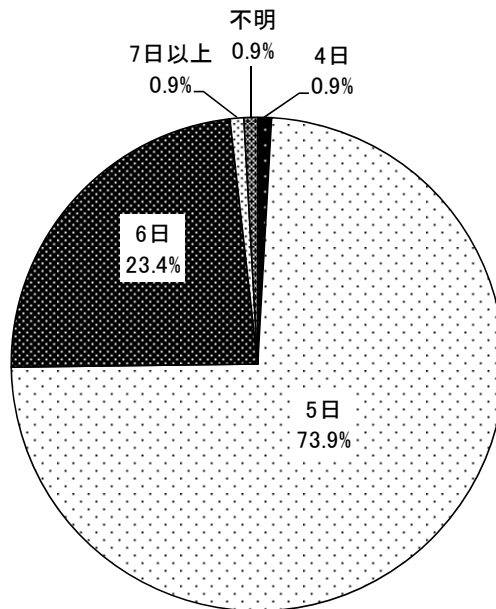
子育て支援サービスの利用状況についてみると、「公立または私立の保育所(園)」82.1%が最も多く、次いで「幼稚園【通常の就園時間】」17.9%の順となっています。



問 14-2 現在の保育サービスの利用状況

【1週当たり】

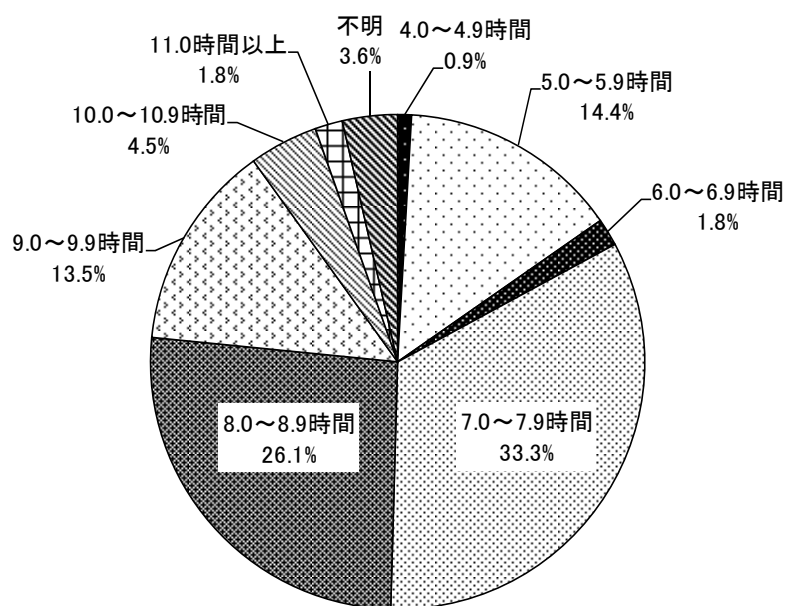
1週当たりの保育サービスの利用状況についてみると、「5日」73.9%が最も多く、次いで「6日」23.4%の順となっています。



N:111

【1日当たり】

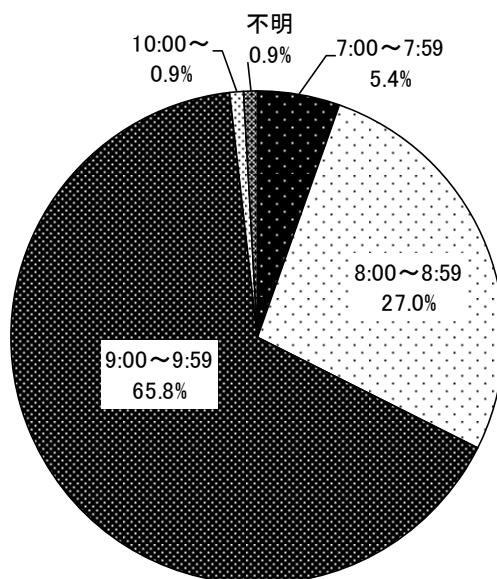
1日当たりの保育サービスの利用状況についてみると、「7.0～7.9時間」33.3%が最も多く、次いで「8.0～8.9時間」26.1%の順となっています。



N:111

### 【始業時間】

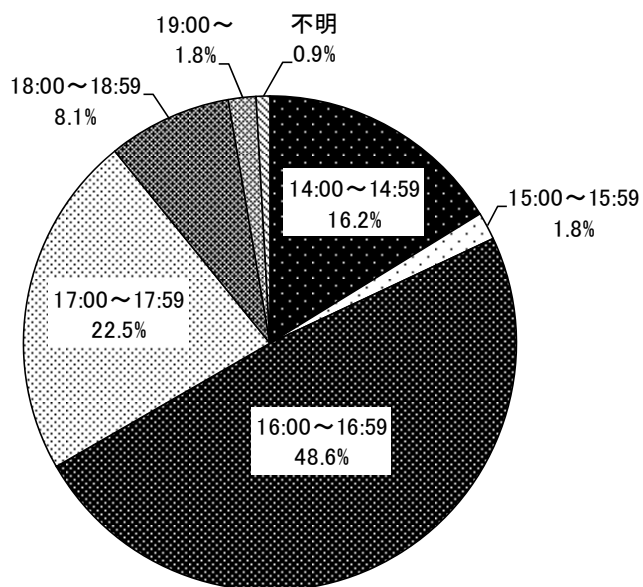
始業時間についてみると、「9:00～9:59」65.8%が最も多く、次いで「8:00～8:59」27.0%の順となっています。



N:111

### 【終業時間】

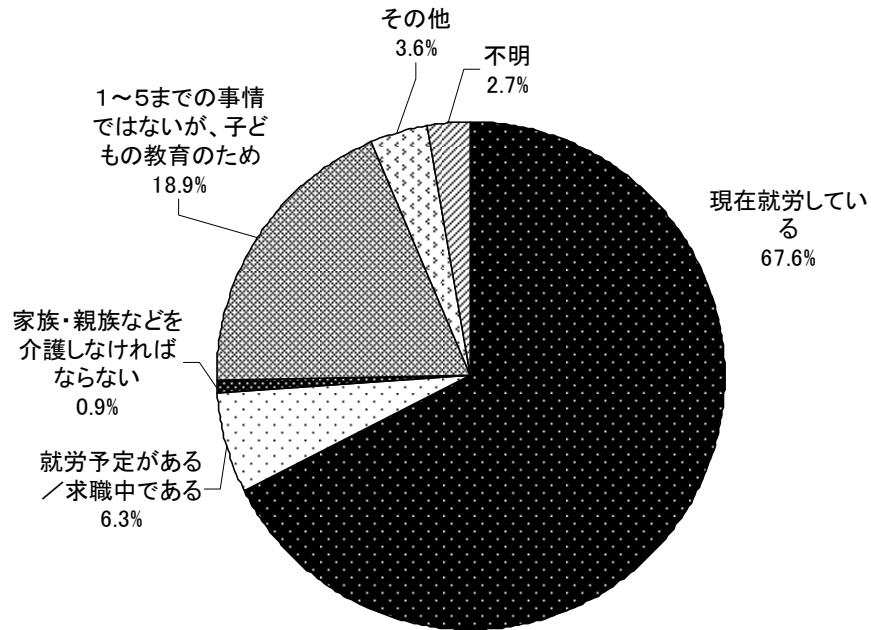
終業時間についてみると、「16:00～16:59」48.6%が最も多く、次いで「17:00～17:59」22.5%の順となっています。



N:111

### 問 14-3 保育サービスを利用している理由

保育サービスを利用している理由についてみると、「現在就労している」67.6%が最も多く、次いで「1～5までの事情ではないが、子どもの教育のため」18.9%、「就労予定がある／求職中である」6.3%の順となっています。

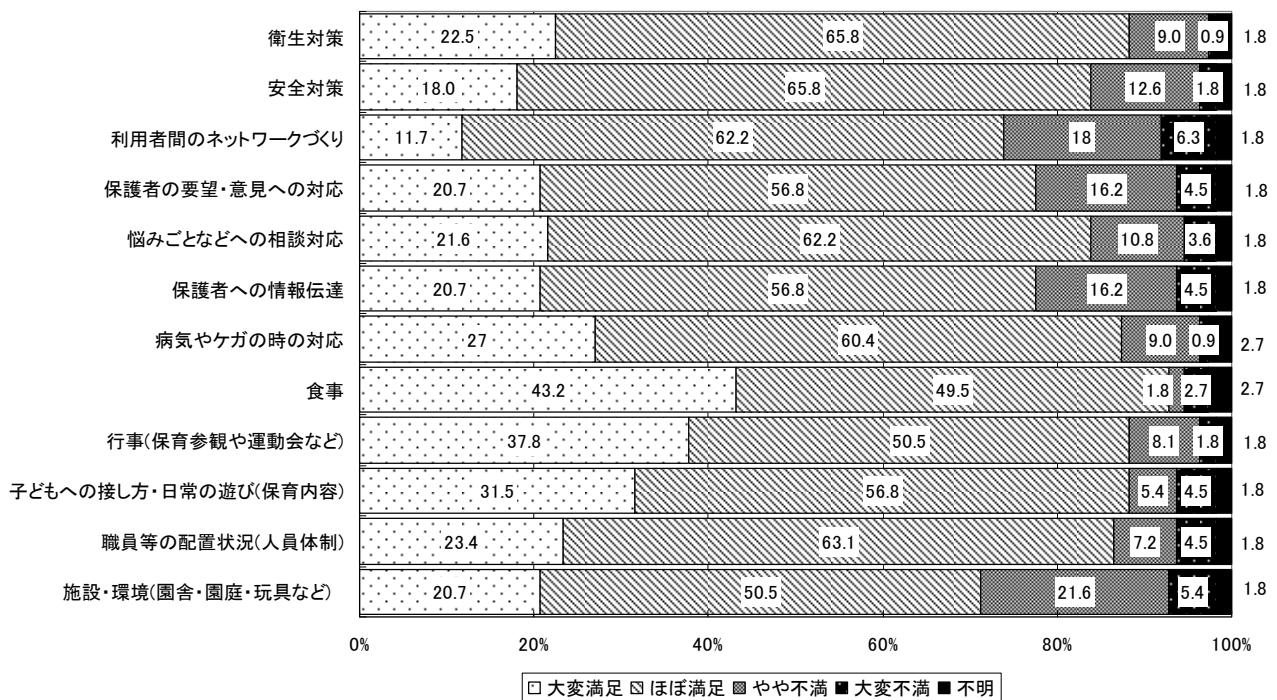


N:111

### 問 14-4 現在通っている保育所等に対してどのように感じているか

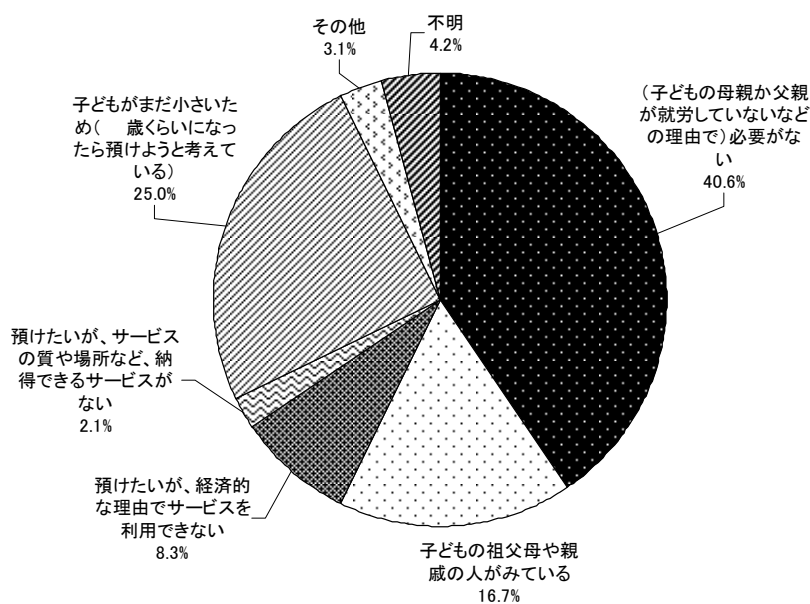
現在通っている保育所等に対してどのように感じているかをみると、全ての項目において「大変満足」、「ほぼ満足」の割合が多くなっています。特に「食事」の満足度が高くなっています。

不満度を見ると「施設・環境（園舎・園庭・玩具など）」が多くなっています。



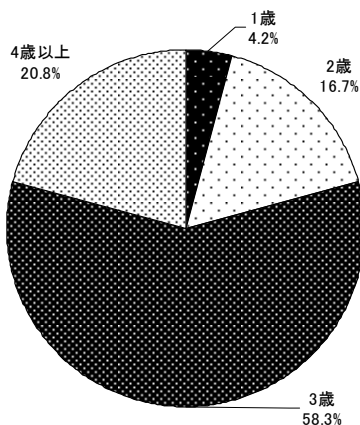
## 問 14-5 保育サービスを利用していない理由

保育サービスを利用していない理由をみると、「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」40.6%が最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」25.0%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」16.7%、「預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない」8.3%、「預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない」2.1%の順となっています。



N:96

また、保育サービスを利用していない理由で「子どもがまだ小さいため」と回答した方に、何歳くらいになったら預けようと考えているかをみると、「3歳」58.3%が最も多く、次いで「4歳」20.8%、「2歳」16.7%、「1歳」4.2%の順となっています。

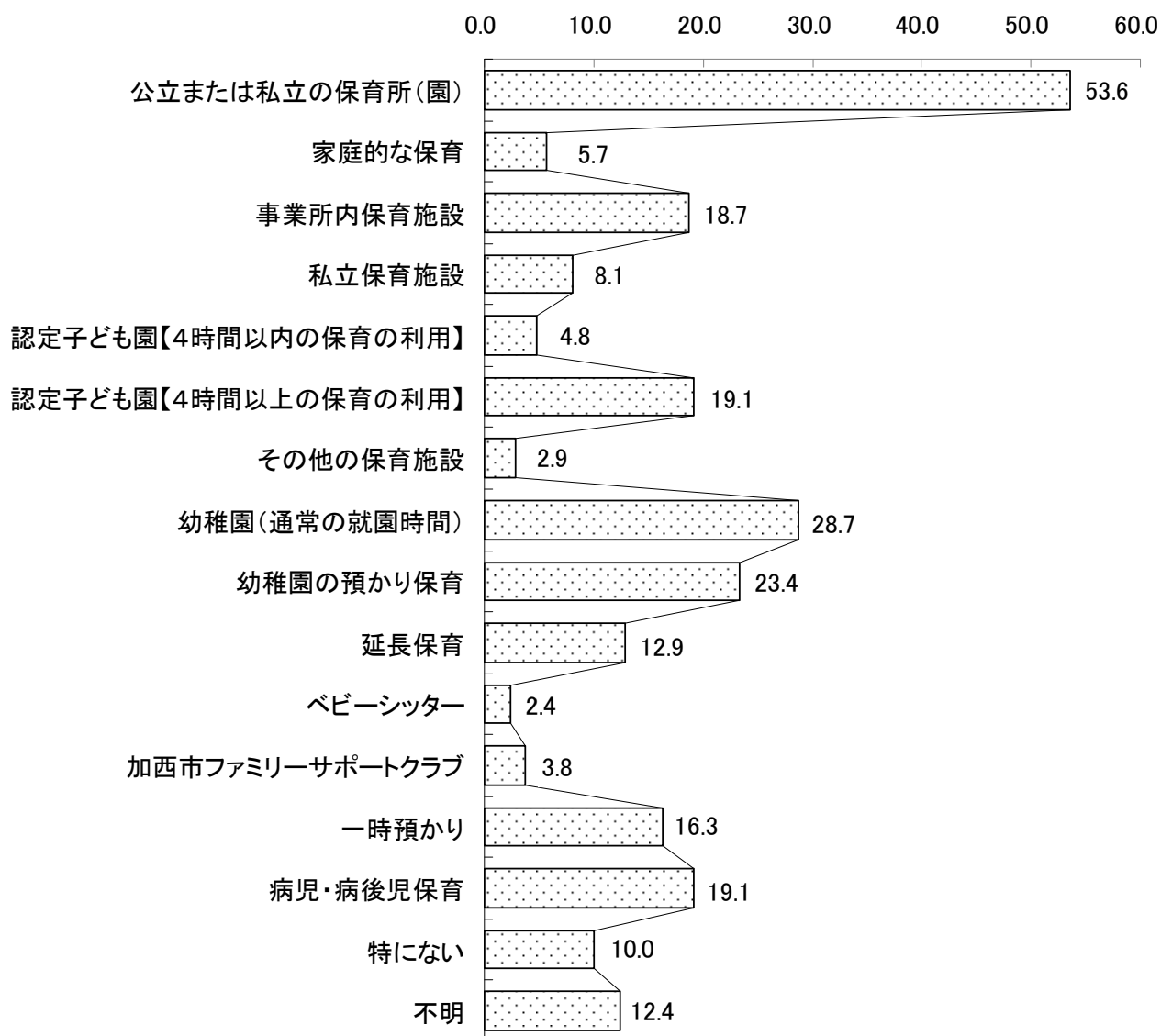


N:24



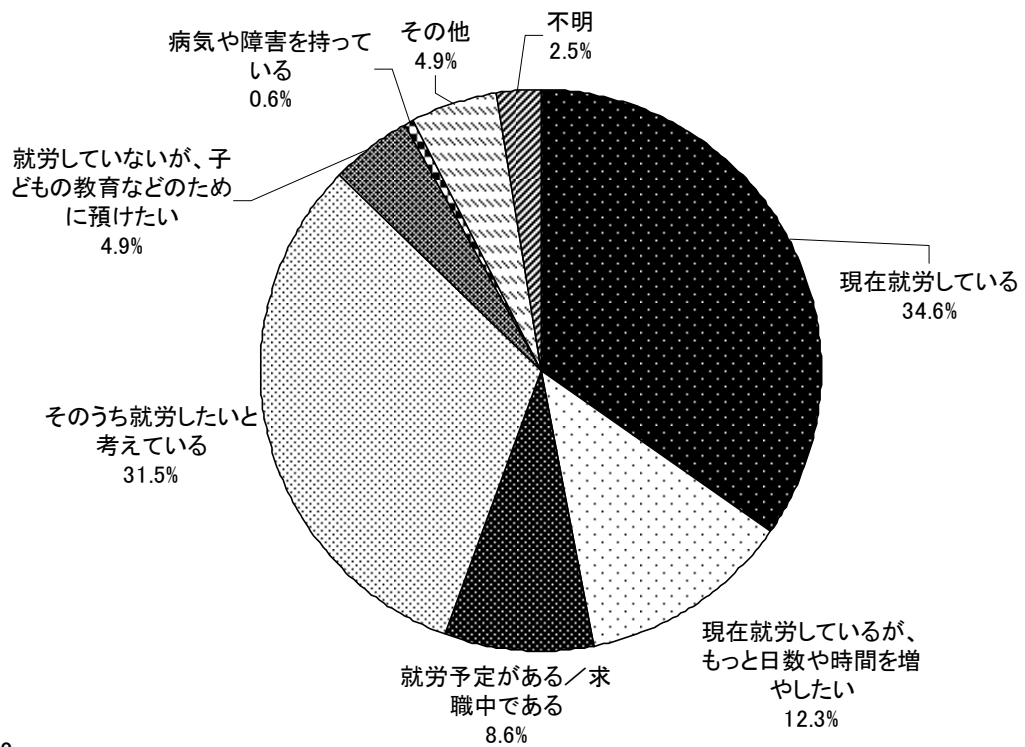
## 問15 サービスの利用希望

サービスの利用希望についてみると、「公立または私立の保育所（園）」53.6%が最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間）」28.7%、「幼稚園の預かり保育」23.4%、「認定子ども園【4時間以上の保育の利用】」、「病児・病後児保育」19.1%、「事業所内保育施設」18.7%の順となっています。



### 問 15-1 サービスを利用したいと考えている理由

サービスを利用したいと考えている理由をみると、「現在就労している」34.6%が最も多く、次いで「そのうち就労したいと考えている」31.5%、「現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい」12.3%、「就労予定がある／求職中である」8.6%、「就労していないが、子どもの教育などのために預けたい」4.9%の順となっています。

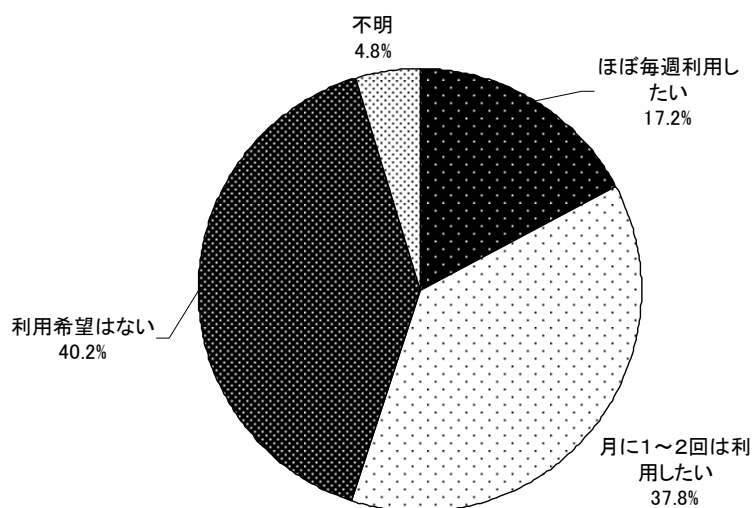


N:162

## 問16 土曜、日曜・祝日の保育サービス等の利用希望

### 【土曜日】

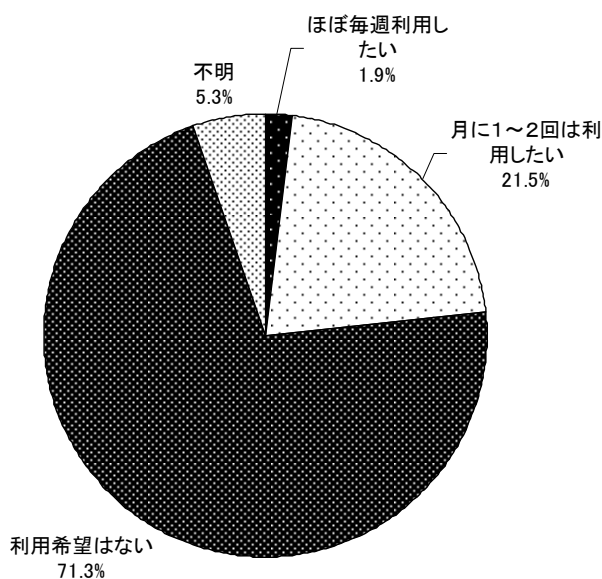
土曜日の保育サービス等の利用希望をみると、「利用希望はない」40.2%が最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」37.8%、「ほぼ毎週利用したい」17.2%の順となっています。



N:209

### 【日曜日・祝日】

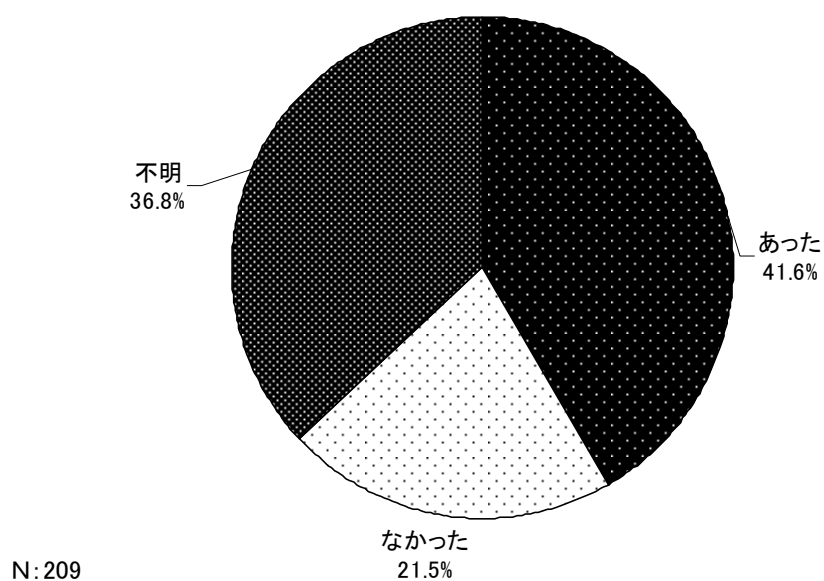
日曜日・祝日の保育サービス等の利用希望をみると、「利用希望はない」71.3%が最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」21.5%、「ほぼ毎週利用したい」1.9%の順となっています。



N:209

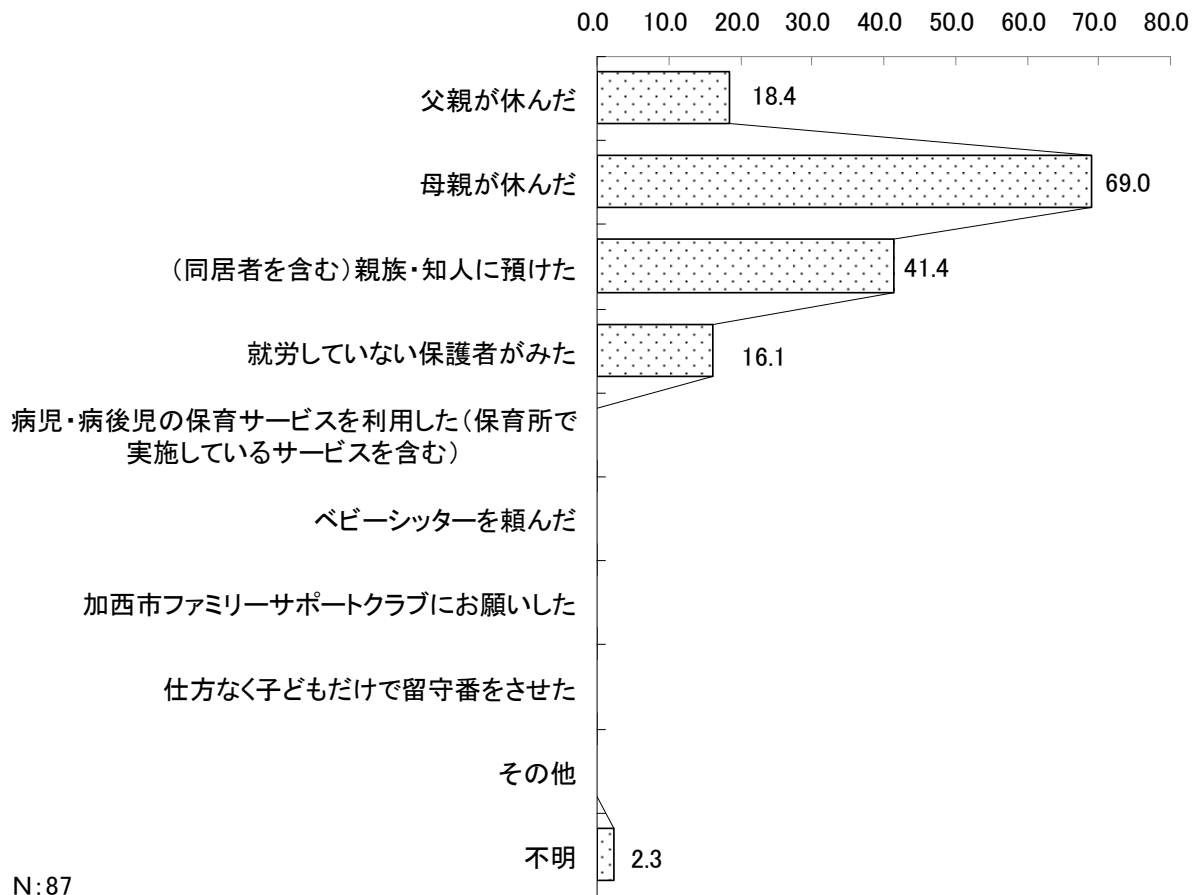
### 問17 病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことの有無

病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことをみると、「あった」41.6%が最も多く、次いで「なかった」21.5%の順となっています。



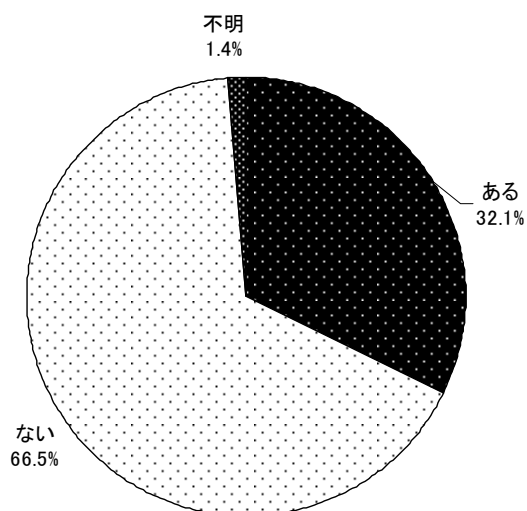
### 問 17-1 保育サービスが利用できなかった場合の対処方法

保育サービスが利用できなかった場合の対処方法についてみると、「母親が休んだ」69.0%が最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に預けた」41.4%、「父親が休んだ」18.4%、「就労していない保護者がみた」16.1%の順となっています。



### 問18 お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無

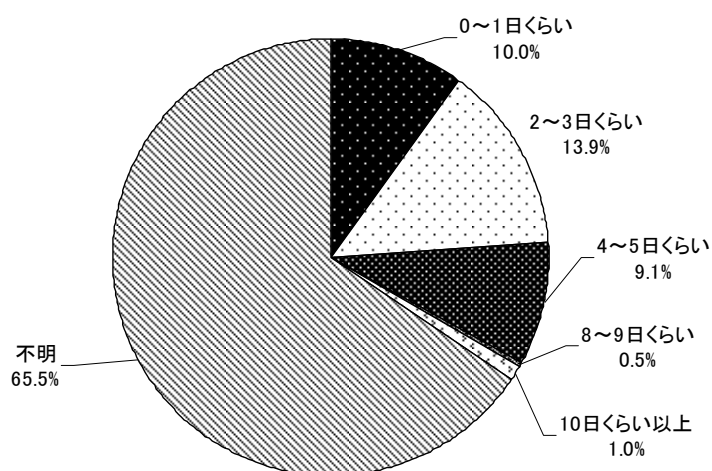
お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無をみると、「ない」66.5%が最も多く、次いで「ある」32.1%の順となっています。



N: 209

### 問19 一時預かりサービスの利用希望

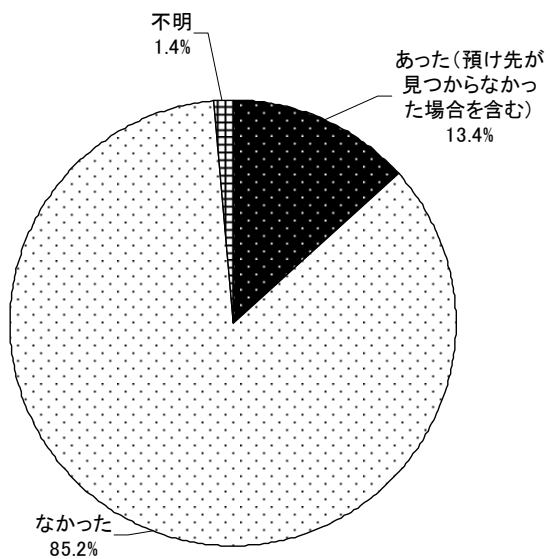
一時預かりサービスの利用希望をみると、「2～3日くらい」13.9%が最も多く、次いで「0～1日くらい」10.0%、「4～5日くらい」9.1%の順となっています。



N: 209

## 問20 お子さんを泊りがけで家族以外に預けたことの有無

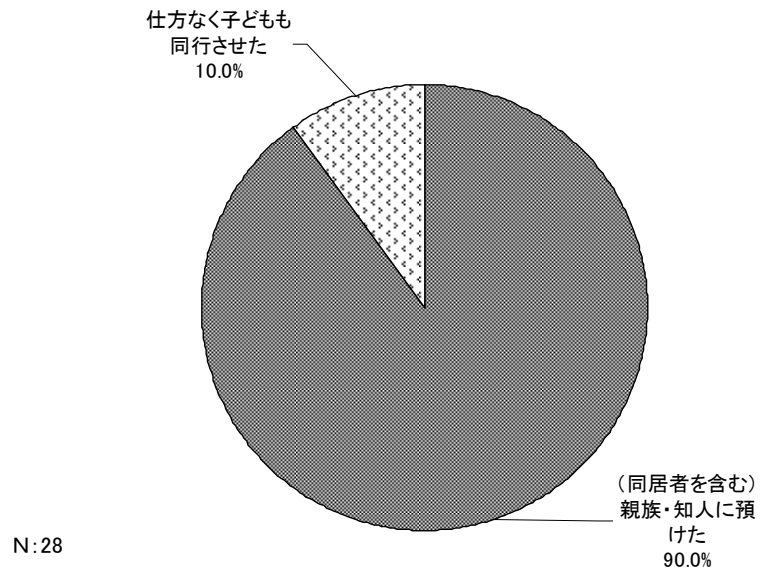
お子さんを泊りがけで家族以外に預けたことはありますかをみると、「なかった」85.2%が最も多く、次いで「あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」13.4%の順となっています。



N:209

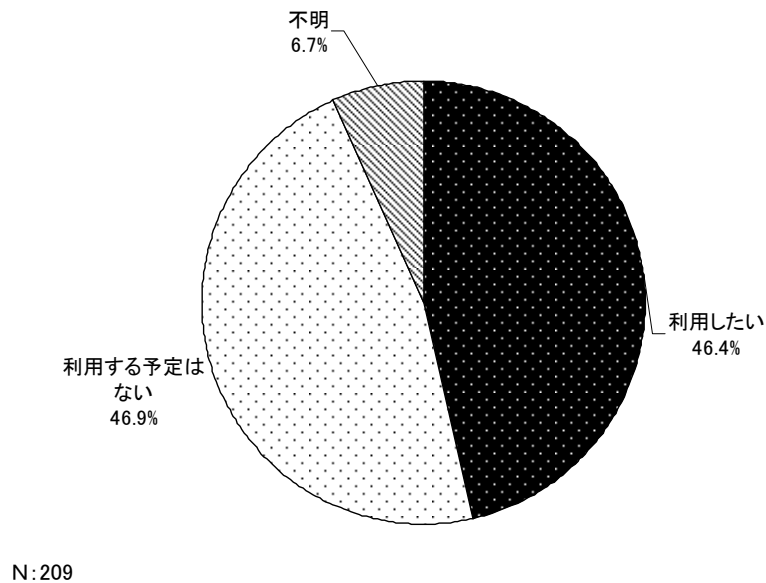
## 問 20-1 対処方法

対処方法についてみると、「(同居人を含む)親族・知人に預けた」90.0%が最も多く、次いで「仕方なく子どもも同行させた」10.0%の順となっています。



## 問21 学童保育の利用意向

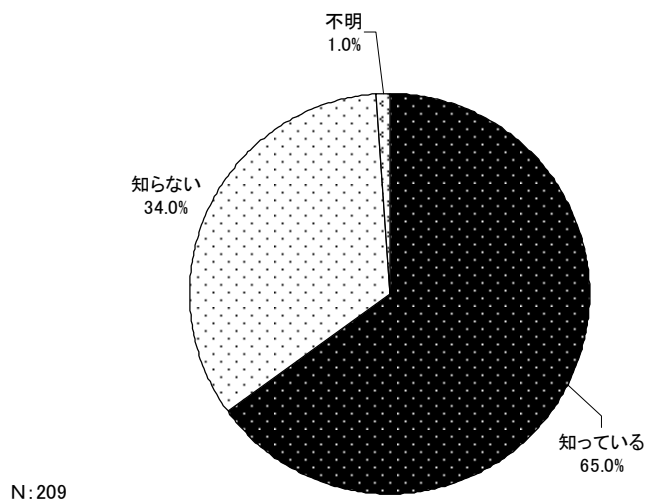
学童保育の利用意向についてみると、「利用する予定はない」46.9%が最も多く、次いで「利用したい」46.4%の順となっています。





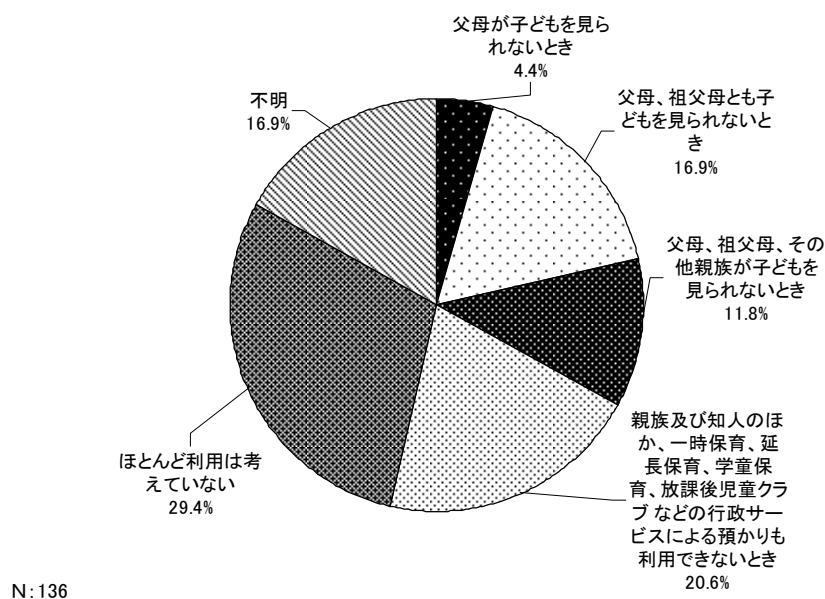
## 問22 加西市ファミリーサポートクラブの認知度

加西市ファミリーサポートクラブの認知度をみると、「知っている」65.0%が最も多く、次いで「知らない」34.0%の順となっています。



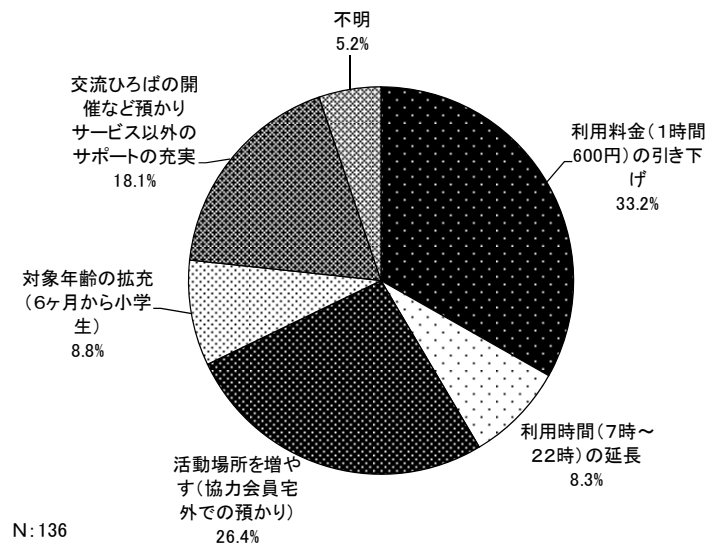
## 問 22-1 どのような時にファミリーサポートクラブを利用するか

ファミリーサポートクラブを利用する理由についてみると、「ほとんど利用は考えていない」29.4%が最も多く、次いで「親族及び知人のほか、一時保育、延長保育、学童保育、放課後児童クラブなどの行政サービスによる預かりも利用できないとき」20.6%、「父母、祖父母とも子どもを見られないとき」16.9%、「父母、祖父母、その他親族が子どもを見られないとき」11.8%、「父母が子どもを見られないとき」4.4%の順となっています。



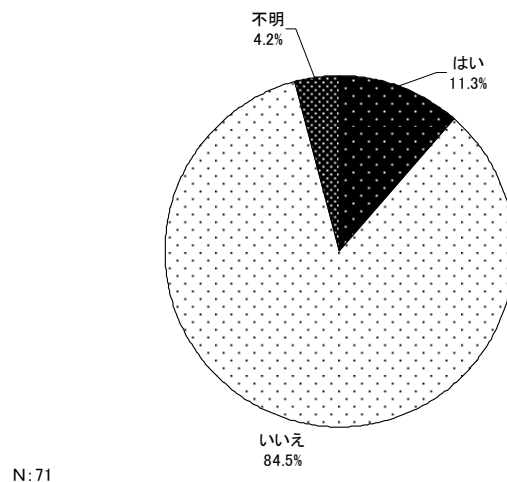
## 問 22-2 ファミリーサポートクラブ利用にあたり今後期待する点

ファミリーサポートクラブを利用するにあたり今後期待する点を見ると、「利用料金（1時間 600円）の引き下げ」33.2%が最も多く、次いで「活動場所を増やす（協会会員宅外での預かり）」26.4%、「交流ひろばの開催など預かりサービス以外のサポートの充実」18.1%、「対象年齢の拡充（6ヶ月から小学生）」8.8%、「利用時間（7時～22時）の延長」8.3%の順となっています。



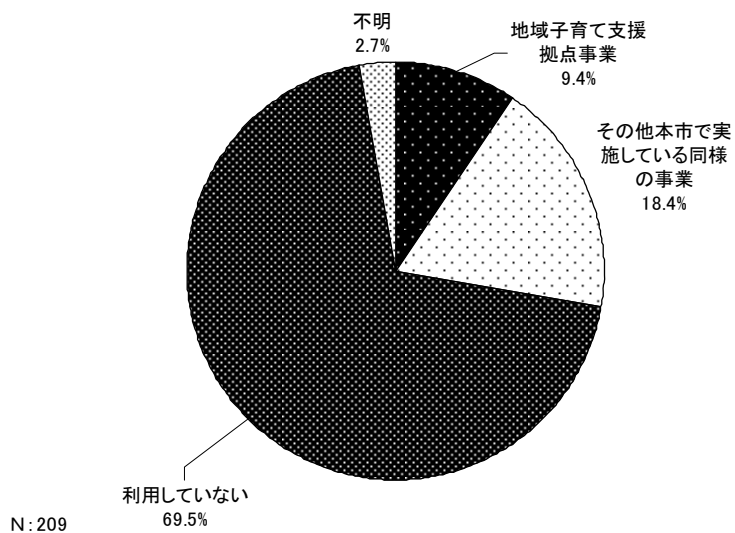
## 問 22-3 今後、ファミリーサポートクラブの利用を検討するか

今後、ファミリーサポートクラブの利用を検討するかについてみると、「いいえ」84.5%が最も多く、次いで「はい」11.3%の順となっています。



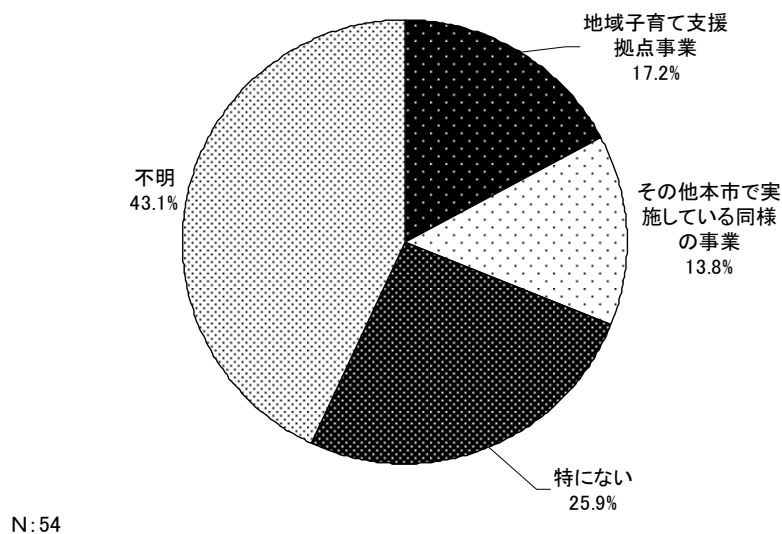
### 問23 「子育てひろば」の利用の有無

「子育てひろば」の利用の有無をみると、「利用していない」69.5%が最も多く、次いで「その他本市で実施している同様の事業」18.4%、「地域子育て支援拠点事業」9.4%の順となっています。



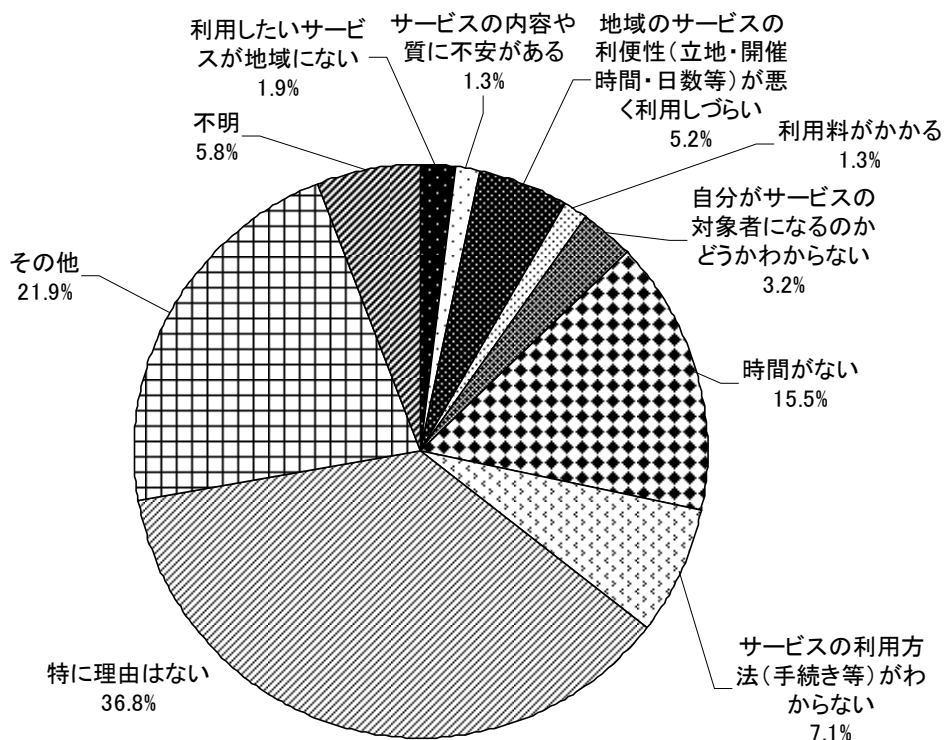
### 問24 「子育てひろば」の利用意向

「子育てひろば」の利用意向をみると、「特にない」25.9%が最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業」17.2%、「その他本市で実施している同様の事業」13.8%の順となっています。



## 問 24-1 現在利用していない理由

現在利用していない理由をみると、「特に理由はない」36.8%が最も多く、次いで「その他」21.9%、「時間がない」15.5%、「サービスの利用方法（手続き等）がわからない」7.1%、「地域のサービスの利便性（立地・開催時間・日数等）が悪く利用しづらい」5.2%、「自分がサービスの対象者になるのかわからない」3.2%の順となっています。



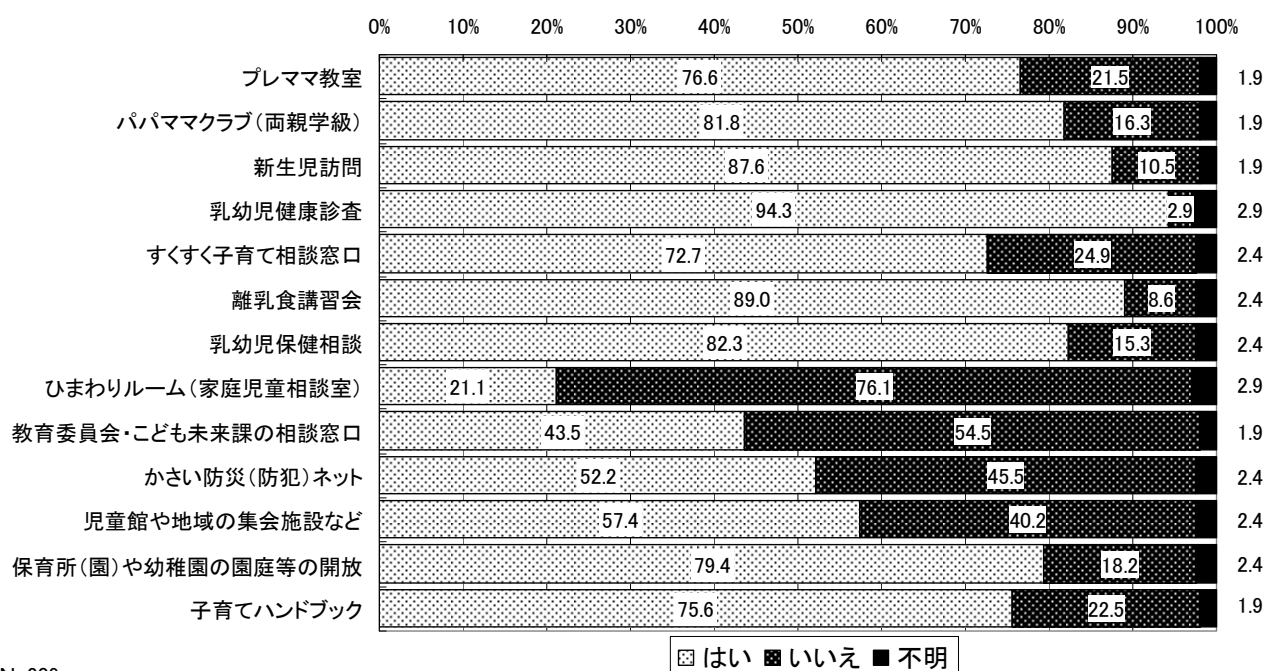
N:155

## 問25 子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向

### 【認知度】

子育て支援サービスの認知度をみると、「乳幼児健康診査」94.3%が最も多く、次いで「離乳食講習会」89.0%、「新生児訪問」87.6%、「乳幼児保健相談」82.3%、「パパママクラブ（両親学級）」87.6%の順となっています。

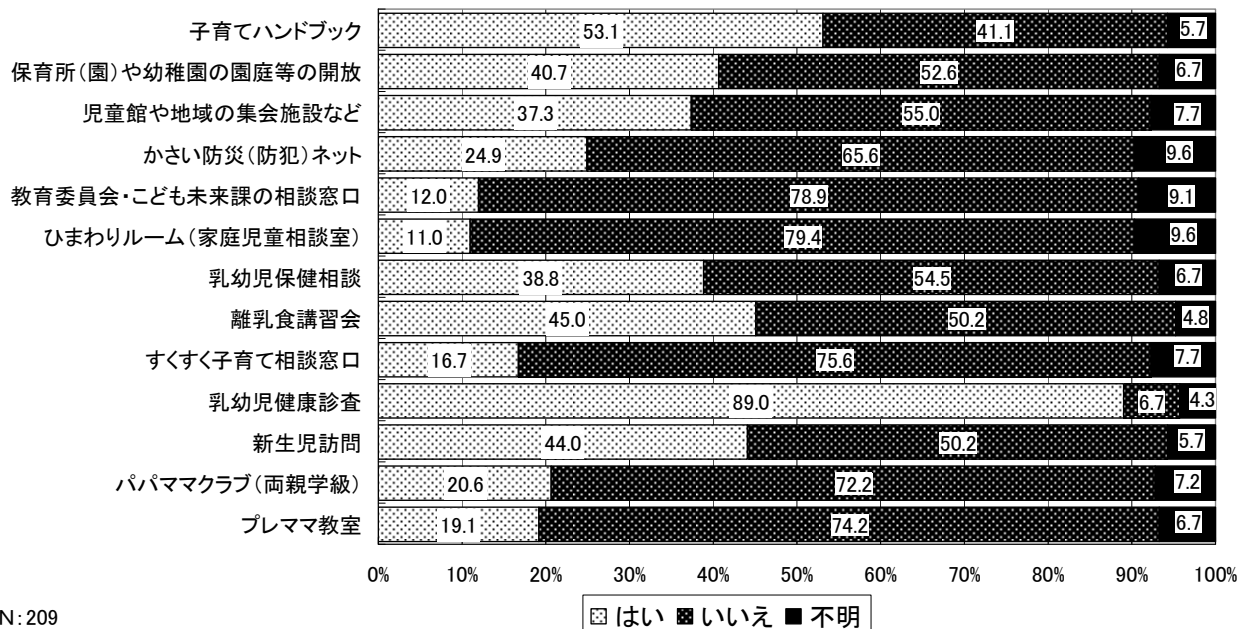
認知度が最も低いサービスは「ひまわりルーム（家庭児童相談室）」21.1%となっています。



N:209

【利用状況】

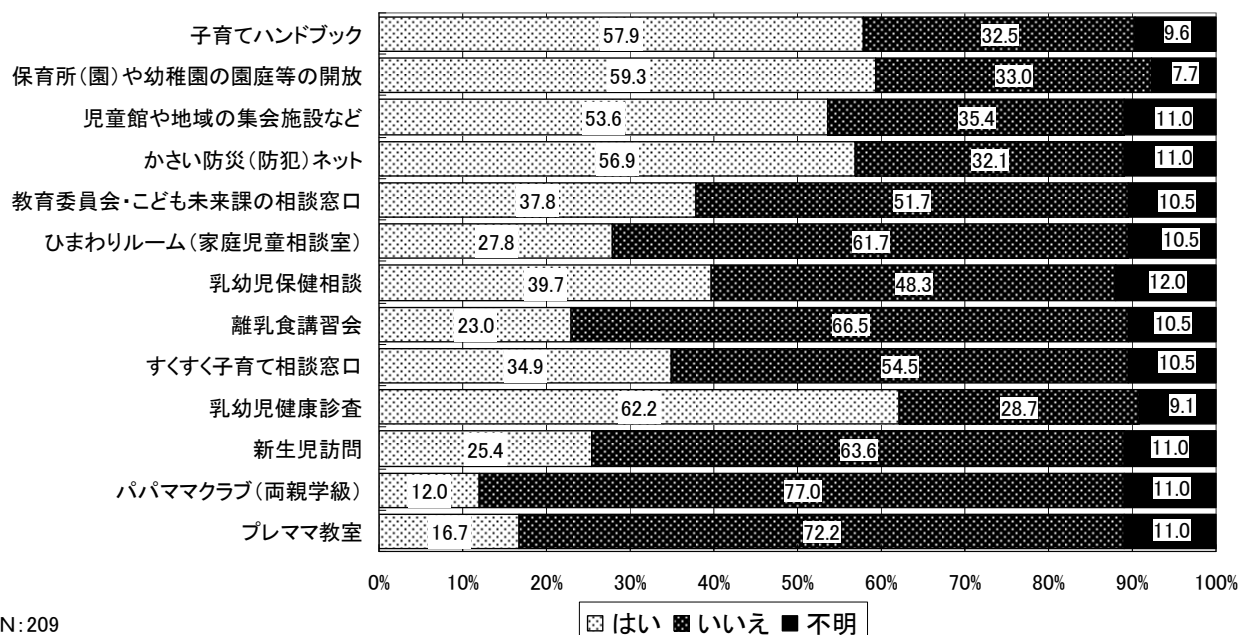
子育て支援サービスの利用状況をみると、「乳幼児健康診査」89.0%が最も多く、次いで「子育てハンドブック」53.1%、「離乳食講習会」45.0%の順となっています。



N: 209

【利用意向】

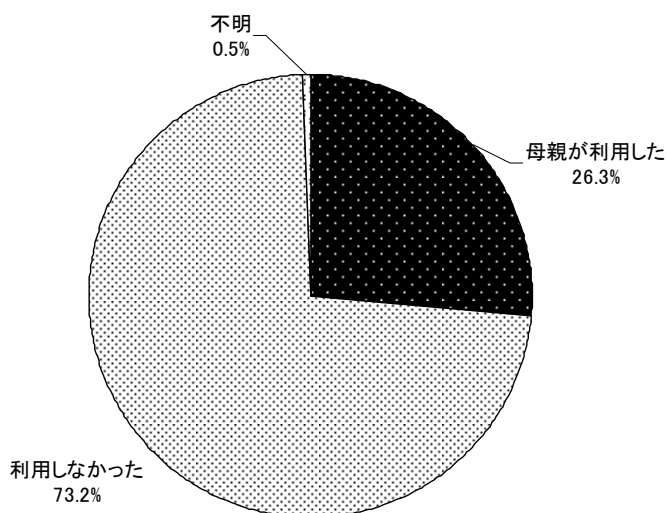
子育て支援サービスの利用意向をみると、「乳幼児健康診査」62.2%が最も多く、次いで「保育所(園)や幼稚園の園庭等の開放」59.3%、「子育てハンドブック」57.9%、「かさい防災(防犯)ネット」56.9%の順となっています。



N: 209

## 問26 育児休業制度の利用について

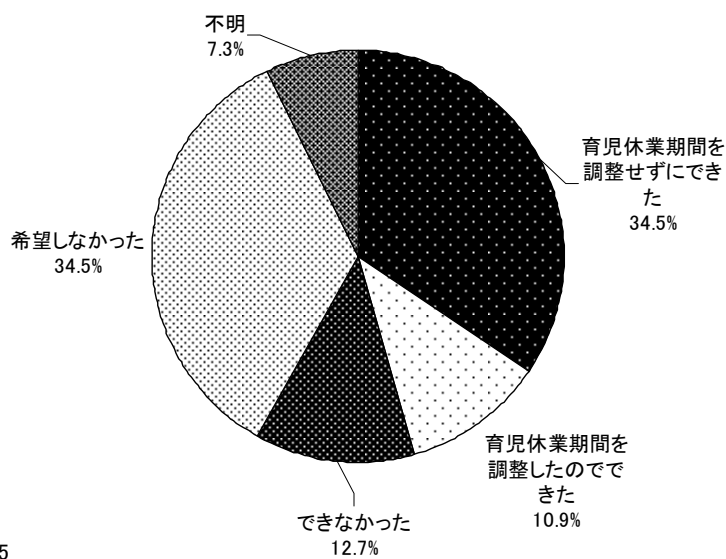
育児休業制度の利用についてみると、「利用しなかった」73.2%が最も多く、次いで「母親が利用した」26.3%の順となっています。



N:209

## 問 26-2 育児休業明けの希望する保育サービスの利用

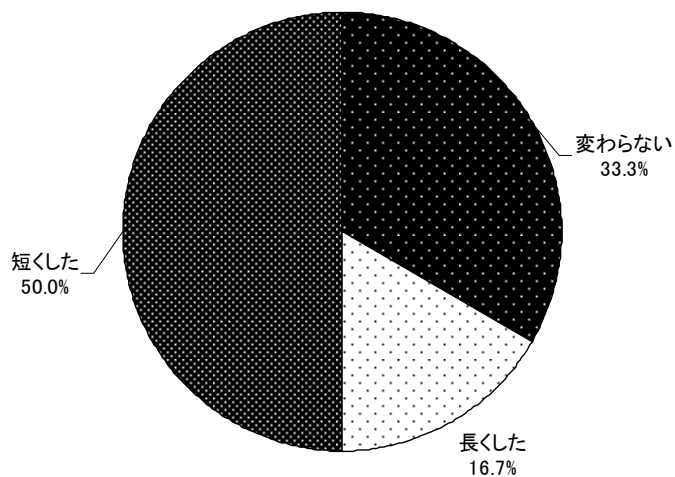
育児休業明けの希望する保育サービスの利用についてみると、「育児休業期間を調整せずにできた」、「希望しなかった」34.5%が最も多く、次いで「できなかった」12.7%、「育児休業期間を調整したのでできた」10.9%の順となっています。



N:55

### 問 26-3 育児休業の期間

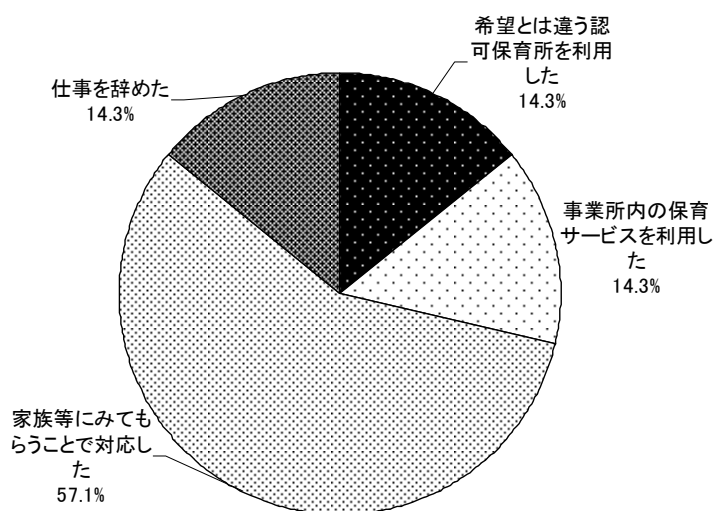
育児休業の期間についてみると、「短くした」50.0%が最も多く、次いで「変わらない」33.3%、「長くした」16.7%の順となっています。



N:6

### 問 26-4 どのように対応したか

どのように対応されましたかをみると、「家族等にみてもらうことで対応した」57.1%が最も多く、次いで「希望とは違う認可保育所を利用した」、「事業所内の保育サービスを利用した」、「仕事を辞めた」14.3%の順となっています。

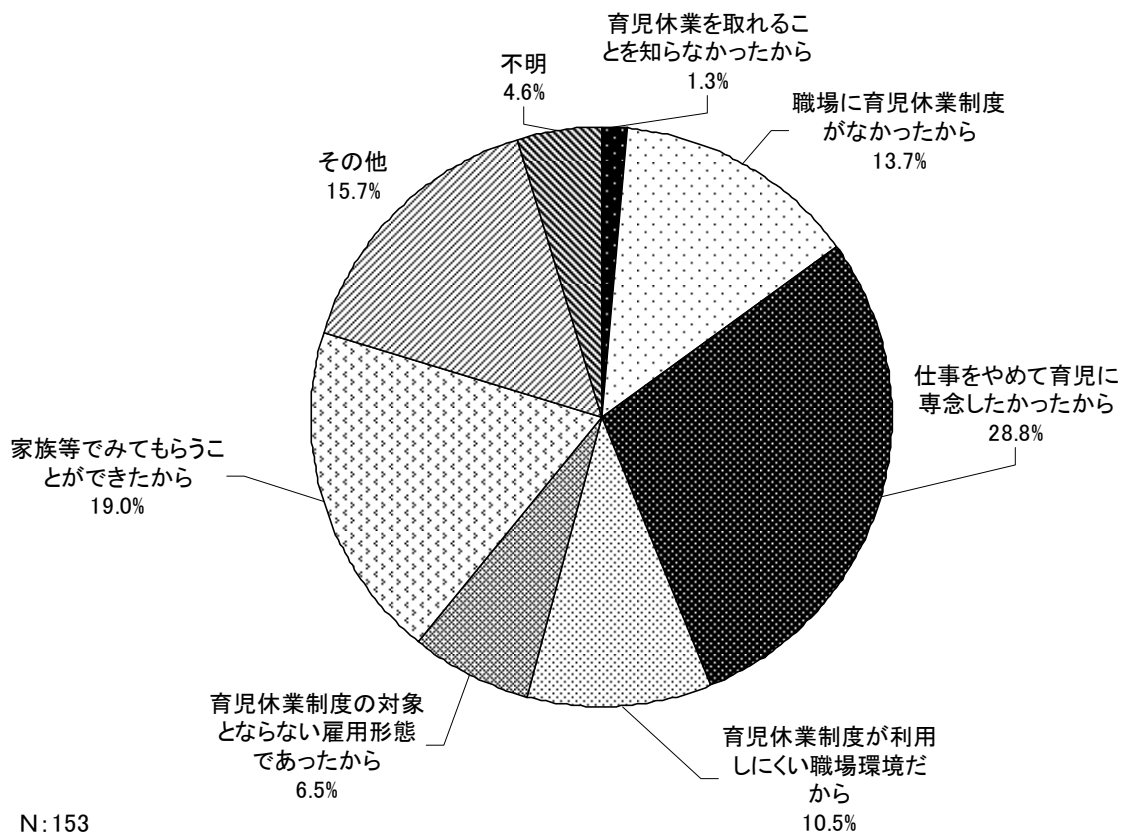


N:7



## 問 26-5 育児休業を利用しなかった理由

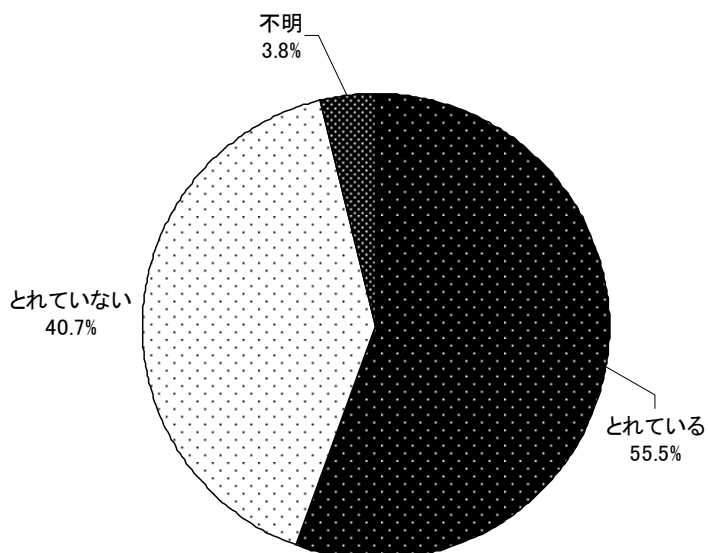
育児休業を利用しなかった理由をみると、「仕事をやめて育児に専念したかったから」28.8%が最も多く、次いで「家族等でみてもらうことができたから」19.0%、「職場に育児休業制度がなかったから」13.7%、「育児休業制度が利用しにくい職場環境だから」10.5%の順となっています。



## 問27 子どもと一緒に過ごす時間や親の介護に時間が十分にとれているか

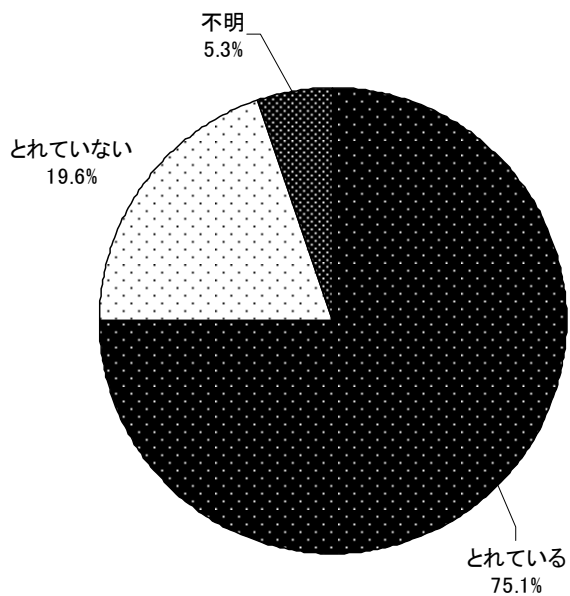
子どもと一緒に過ごす時間や親の介護に時間が十分にとれていますかをみると、父親は「とれている」55.5%、母親は「とれている」75.1%となっており、母親の方が割合が高くなっています。

【父親】



N:209

【母親】

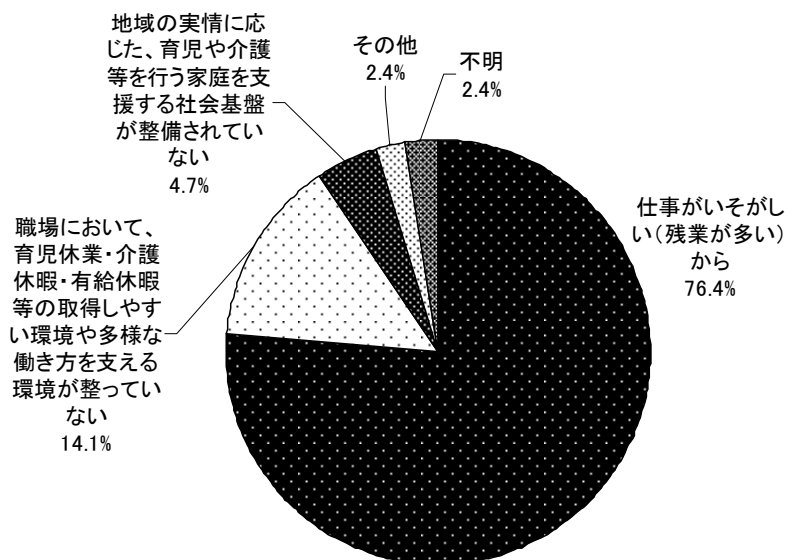


N:209

## 問 27-1 「とれていない」と思う理由

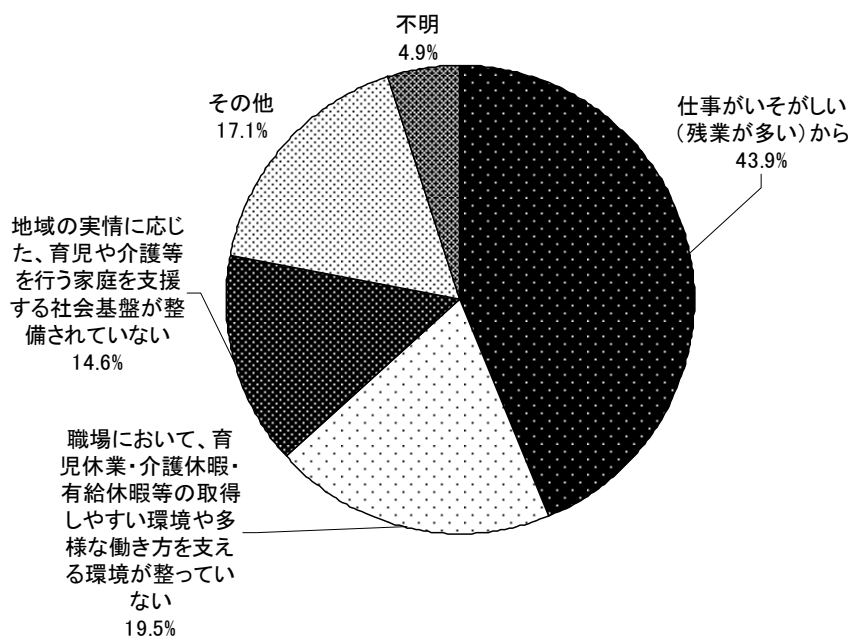
「とれていない」と思う理由をみると、父親・母親ともに最も多かったのは「仕事がいそがしい（残業が多い）から」となっていますが、父親 76.4%、母親 43.9%と父親の割合の方が高くなっています。

### 【父親】



N:85

### 【母親】

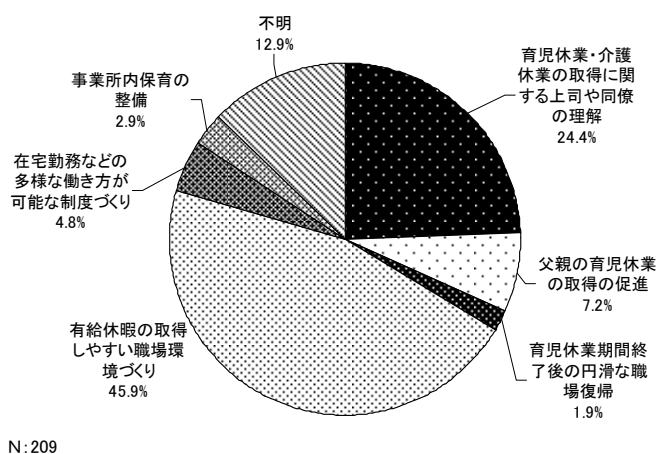


N:41

## 問28 仕事と子育ての両立をはかるため、職場において必要なこと

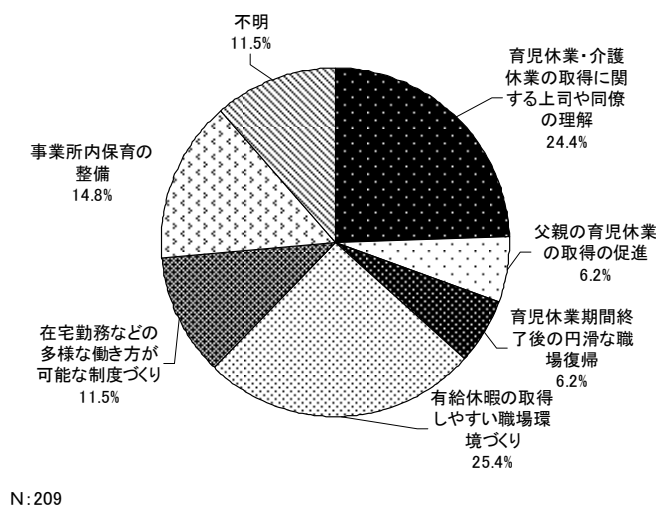
### 【父親】

父親の仕事と子育ての両立をはかるため、職場において必要なことをみると、「有給休暇の取得しやすい職場環境づくり」45.9%が最も多く、次いで「育児休業・介護休業の取得に関する上司や同僚の理解」24.4%、「父親の育児休業の取得の促進」7.2%、「在宅勤務などの多様な働き方が可能な制度づくり」4.8%、「事業所内保育の整備」2.9%の順となっています。



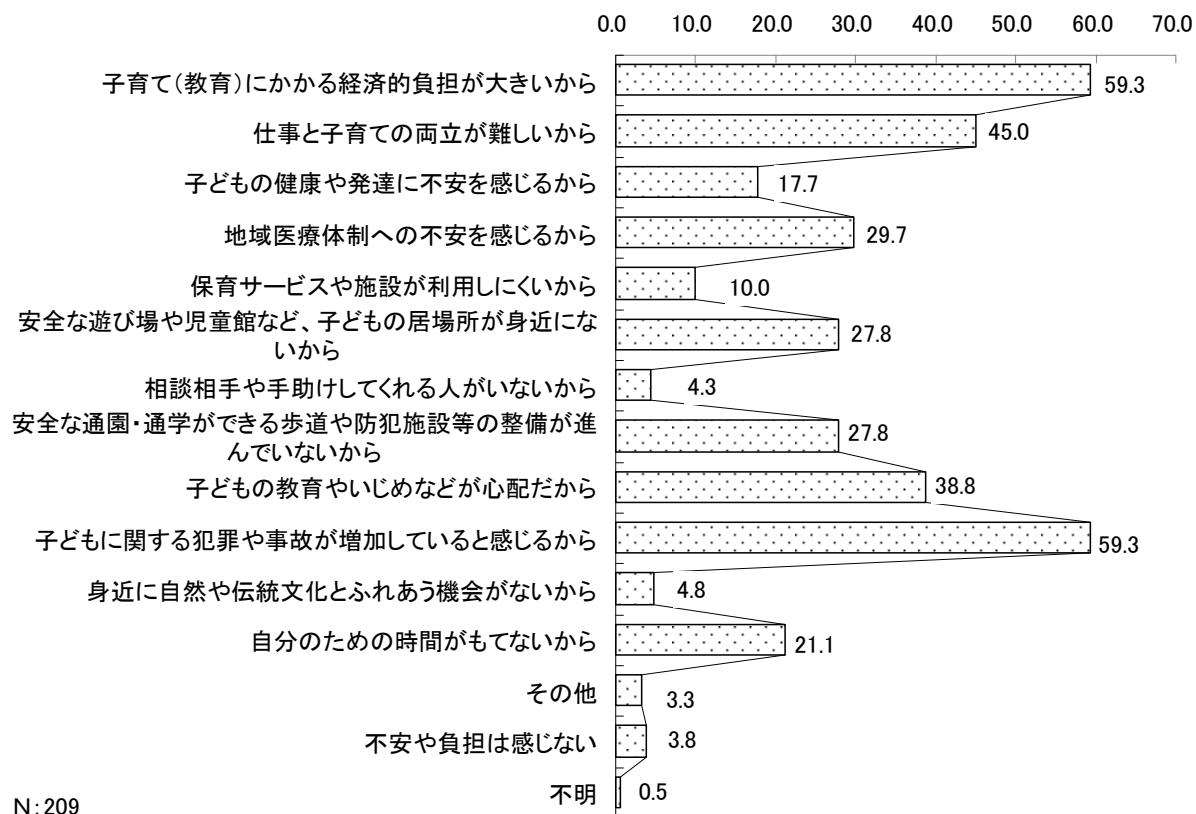
### 【母親】

母親の仕事と子育ての両立をはかるため、職場において必要なことをみると、「有給休暇の取得しやすい職場環境づくり」25.4%が最も多く、次いで「育児休業・介護休業の取得に関する上司や同僚の理解」24.4%、「事業所内保育の整備」14.8%、「在宅勤務などの多様な働き方が可能な制度づくり」11.5%、「父親の育児休業の取得の促進」、「育児休業期間終了後の円滑な職場復帰」6.2%の順となっています。



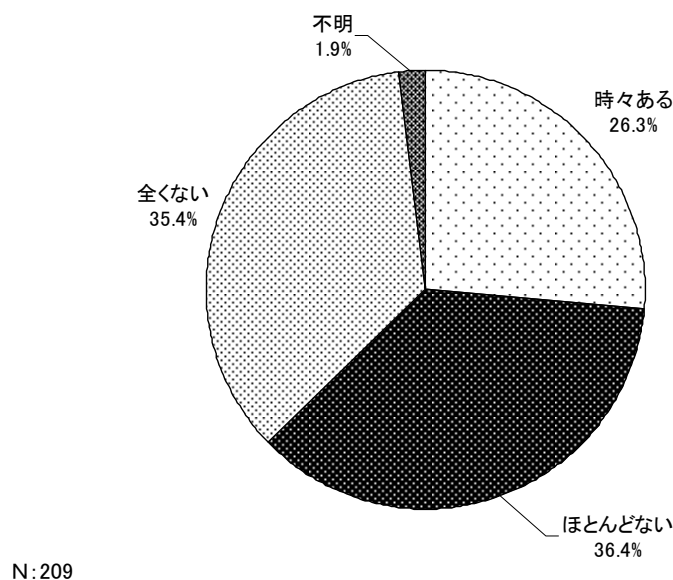
## 問29 子育ての不安や負担感

子育ての不安や負担感についてみると、「子育て（教育）にかかる経済的負担が大きいから」、「子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じるから」59.3%が最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいから」45.0%、「子どもの教育やいじめなどが心配だから」38.8%、「地域医療体制への不安を感じるから」29.7%の順となっています。



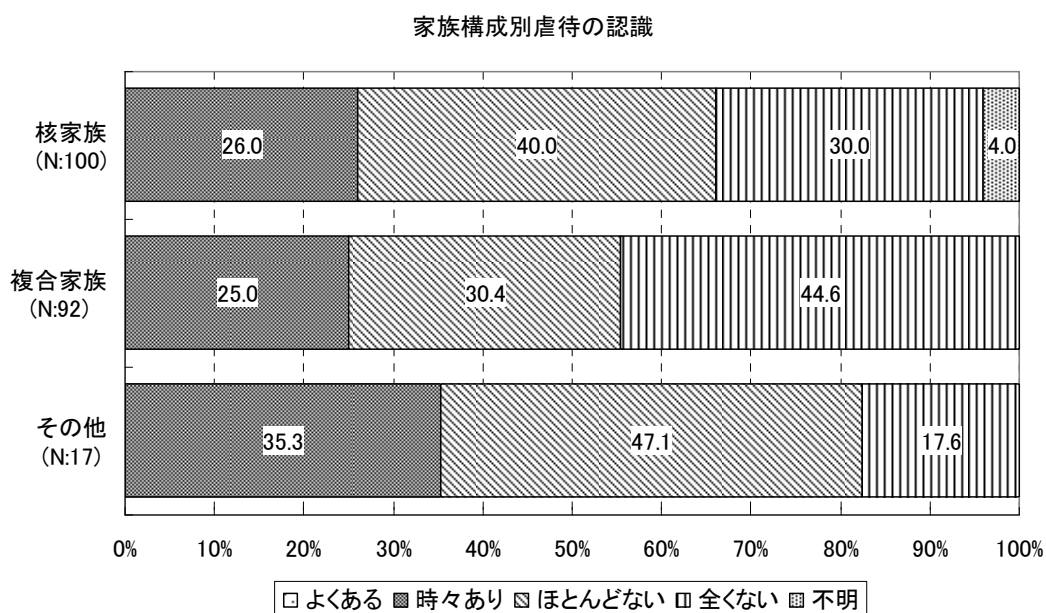
### 問30 虐待の状況

虐待についてみると、「ほとんどない」36.4%が最も多く、次いで「全くない」35.4%、「時々ある」26.3%の順となっています。



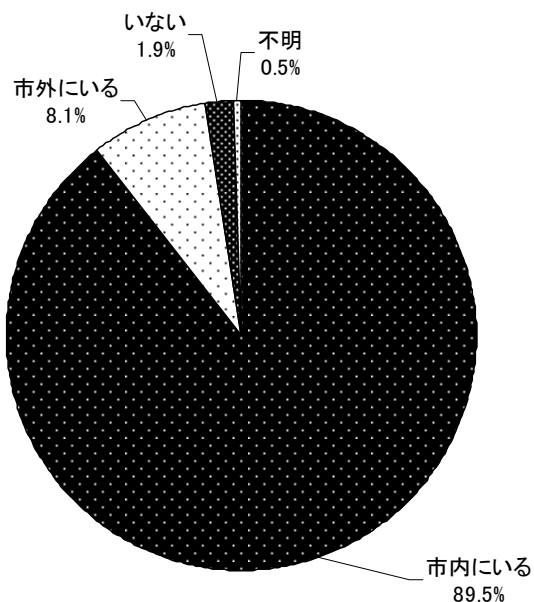
### ■ 家族構成別虐待の状況（クロス集計）

家族構成別に虐待の状況を見ると、「全くない」の割合は、核家族に比べ複合家族の方が多くなっています。



### 問31 小児科のかかりつけ医の有無

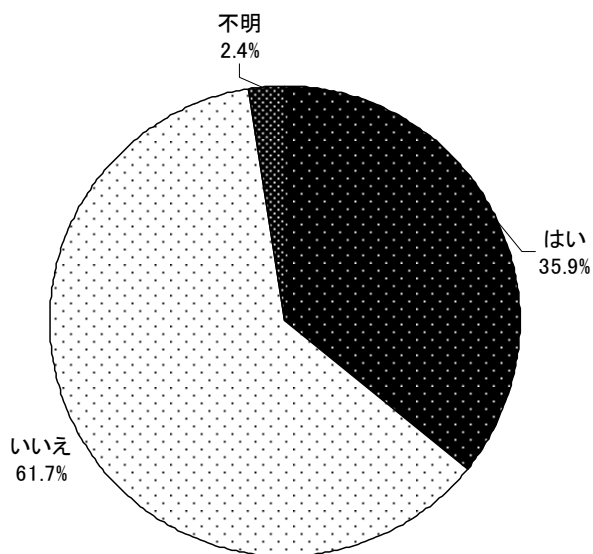
小児科のかかりつけ医の有無をみると、「市内にいる」89.5%が最も多く、次いで「市外にいる」8.1%、「いない」1.9%の順となっています。



N:209

### 問32 加西市は子育てしやすい環境にあると思うか

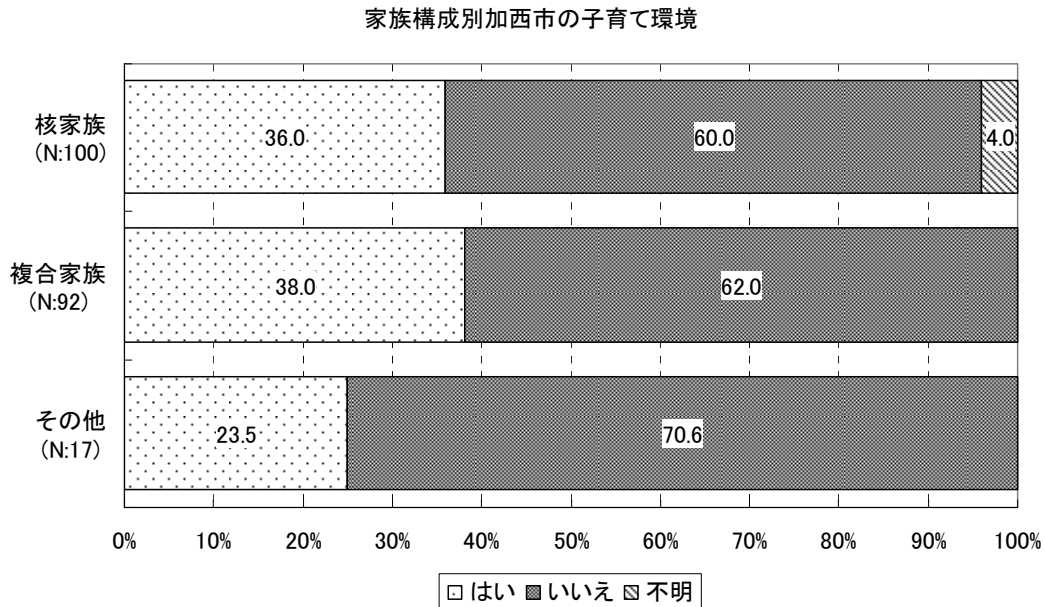
加西市は子育てしやすい環境にあると思うかについてみると、「いいえ」61.7%が最も多く、次いで「はい」35.9%の順となっています。



N:209

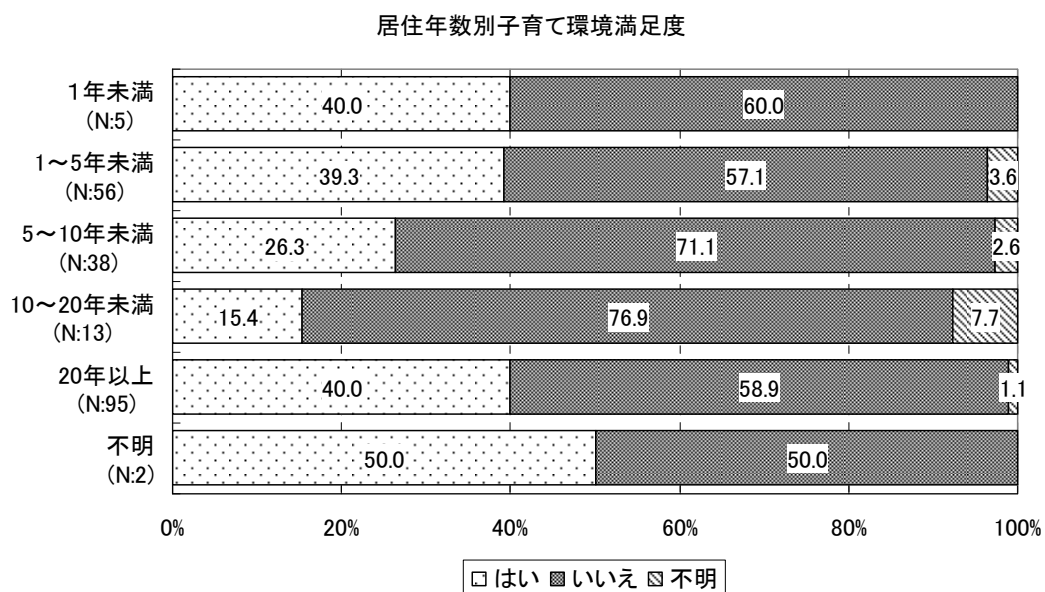
## ■ 家族構成別加西市の子育て環境（クロス集計）

家族構成別に加西市の子育て環境をみると、核家族、複合家族共に満足していない割合が多くなっています。



## ■ 居住年数別加西市の子育て環境（クロス集計）

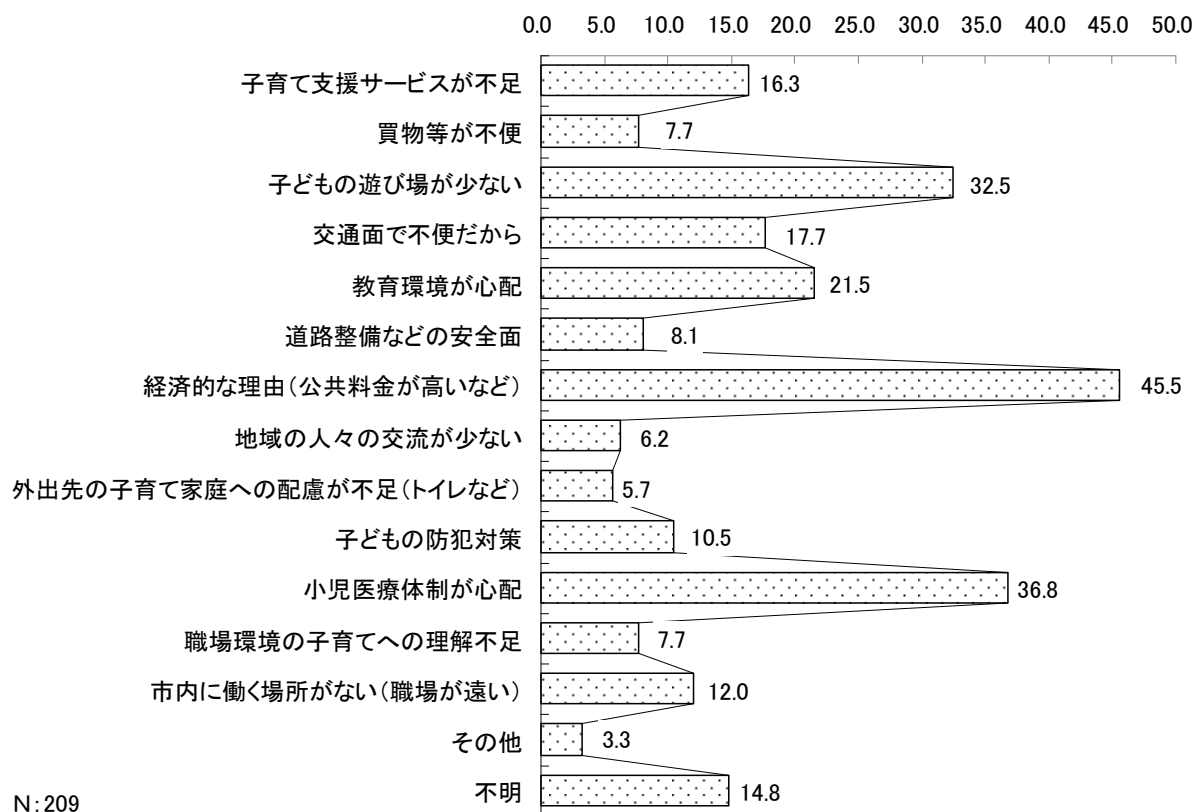
居住年数別に加西市の子育て環境をみると、「1年未満」から「10～20年未満」までは居住年数が長くなるほど低くなる傾向にあります。また、「20年以上」では、40.0%となっています。





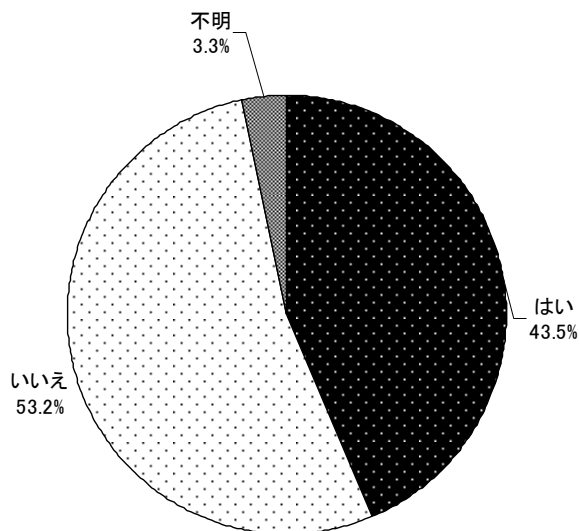
### 問 32-1 子育てがしにくいと思う理由

子育てがしにくいと思う理由をみると、「経済的な理由（公共料金が高いなど）」45.5%が最も多く、次いで「小児医療体制が心配」36.8%、「子どもの遊び場が少ない」32.5%、「教育環境が心配」21.5%の順となっています。



### 問33 加西市での子育てに満足しているか

加西市での子育てに満足しているかについてみると、「いいえ」53.2%が最も多く、次いで「はい」43.5%の順となっています。

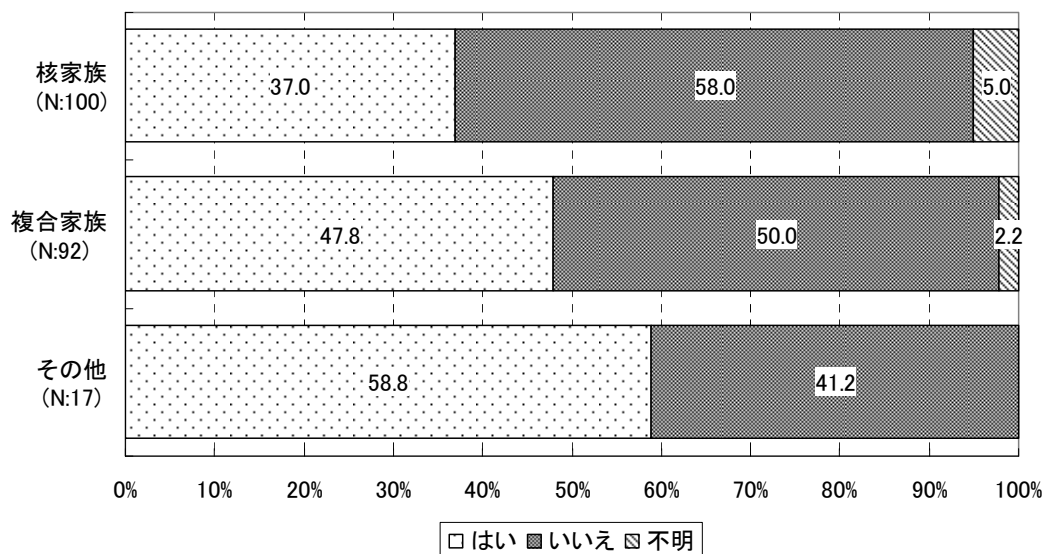


N:209

### ■ 家族構成別子育て満足度（クロス集計）

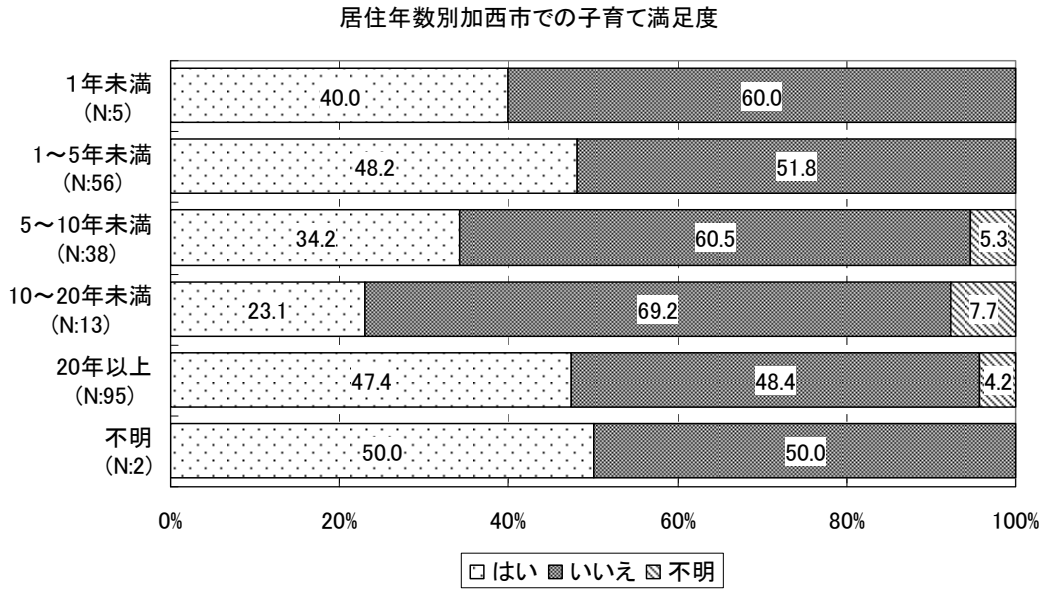
家族構成別に子育ての満足度をみると、核家族、複合家族共に満足していない割合が多くなっていますが、複合家族の方が満足度が高くなっています。

家族構成別加西市の子育て満足度



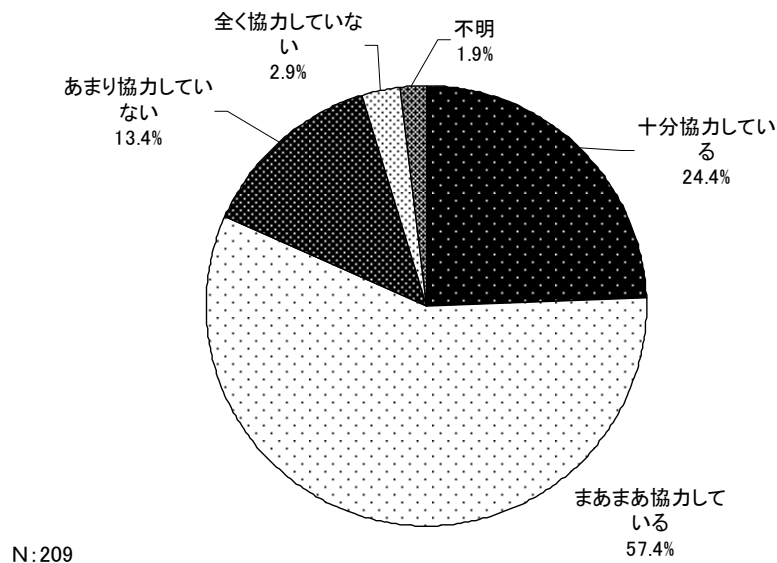
## ■ 居住年数別子育て満足度（クロス集計）

居住年数別に子育ての満足度をみると、「10～20年未満」の満足度が他と比べ低くなっています。



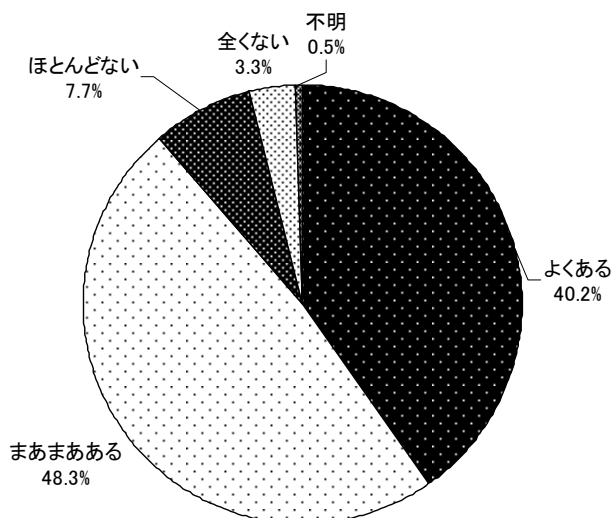
## 問34 家族で協力して子育てをしているか

家族で協力して子育てをしているかについてみると、「まあまあ協力している」57.4%が最も多く、次いで「十分協力している」24.4%、「あまり協力していない」13.4%、「全く協力していない」2.9%の順となっています。



### 問35 地域の人から声をかけられることの有無

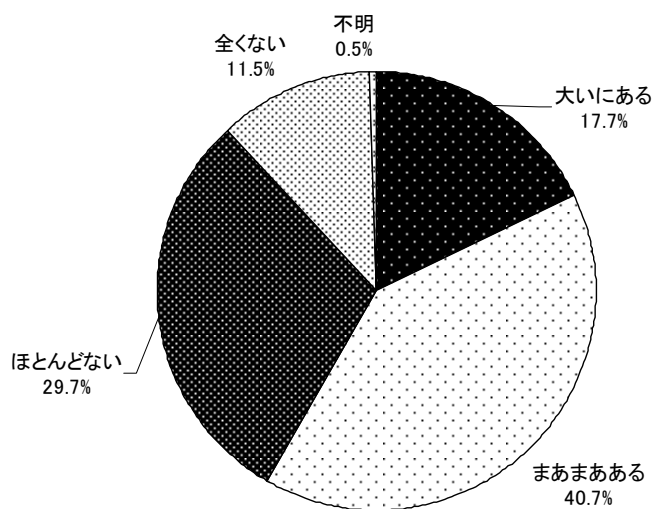
地域の人から声をかけられることの有無をみると、「まあまあある」48.3%が最も多く、次いで「よくある」40.2%、「ほとんどない」7.7%、「全くない」3.3%の順となっています。



N:209

### 問36 周囲の人に支えてもらって子育てをしている実感の有無

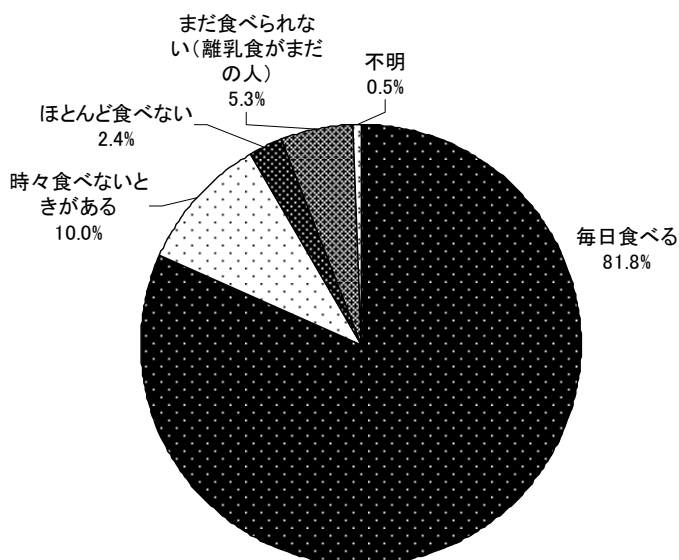
周囲の人に支えてもらって子育てをしている実感の有無をみると、「まあまあある」40.7%が最も多く、次いで「ほとんどない」29.7%、「大いにある」17.7%、「全くない」11.5%の順となっています。



N:209

### 問37 お子さんは朝食を食べているか

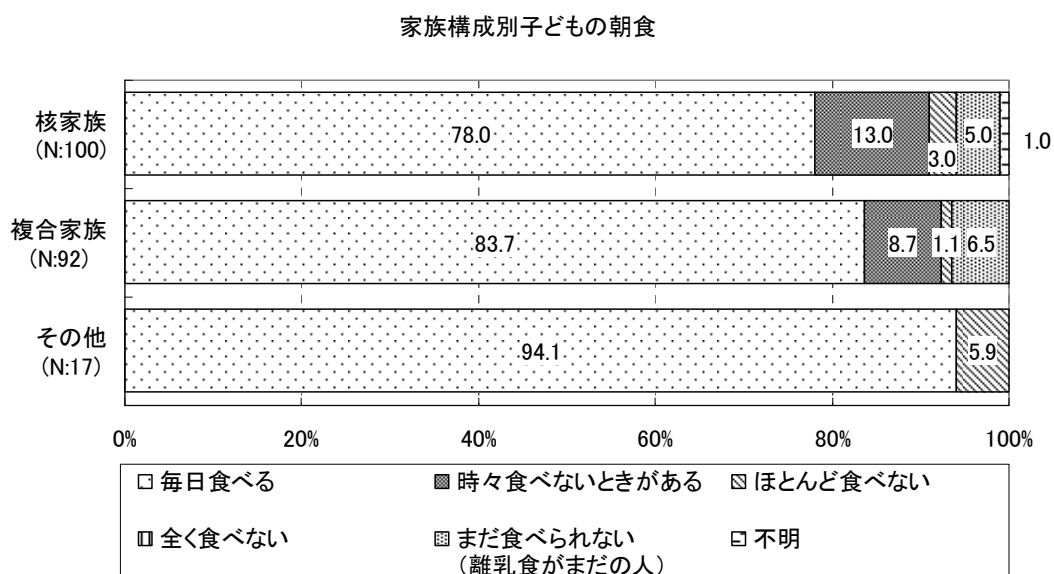
お子さんは朝食を食べているかについてみると、「毎日食べる」81.8%が最も多く、次いで「時々食べないときがある」10.0%、「まだ食べられない（離乳食がまだの人）」5.3%の順となっています。



N:209

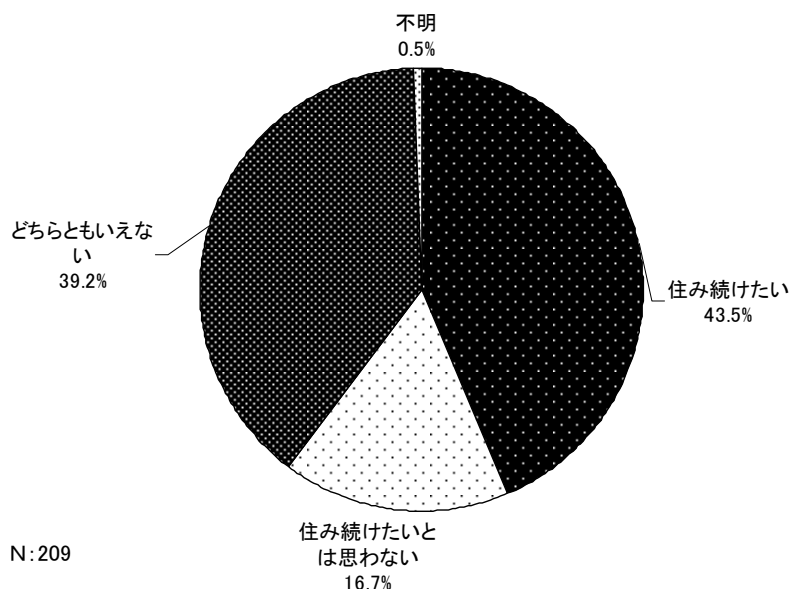
### ■ 家族構成別子どもの朝食の状況（クロス集計）

家族構成別に子どもの朝食の状況を見ると、核家族、複合家族共に「毎日食べる」割合が多くなっていますが、複合家族の方が「毎日食べる」割合が高くなっています。



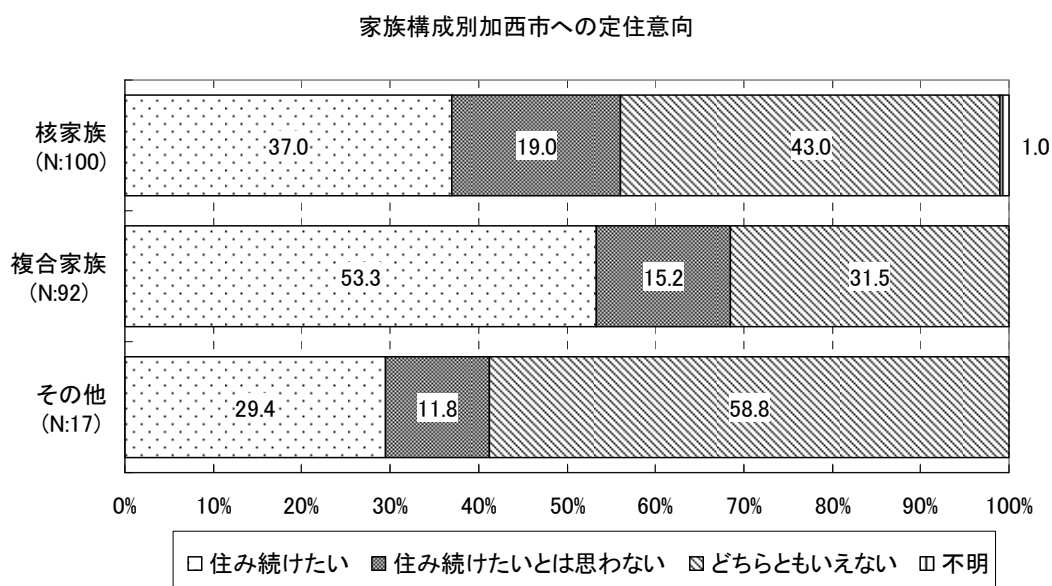
### 問38 これからも加西市に住み続けたいと思うか

これからも加西市に住み続けたいと思うかについてみると、「住み続けたい」43.5%が最も多く、次いで「どちらともいえない」39.2%の順となっています。



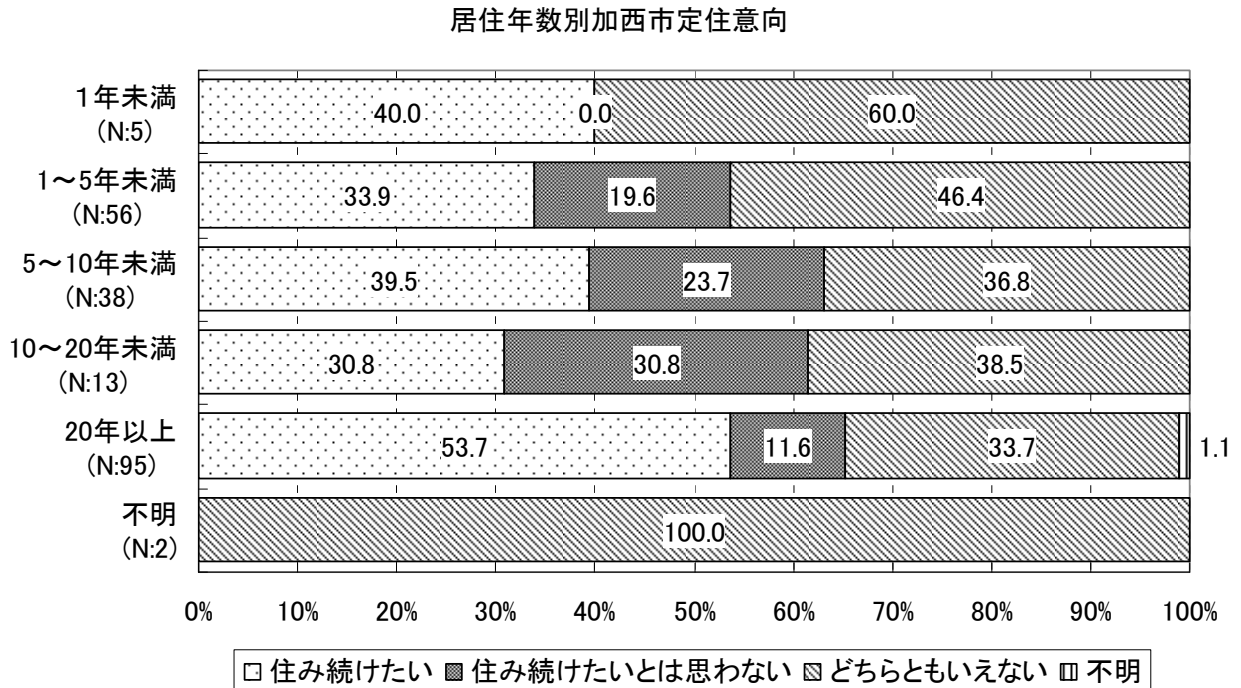
### ■ 家族構成別加西市への定住意向（クロス集計）

家族構成別に加西市への定住意向をみると、核家族では「住み続けたい」37.0%に対し、複合家族は53.3%となっており、複合家族の方が定住意向が高い傾向となっています。



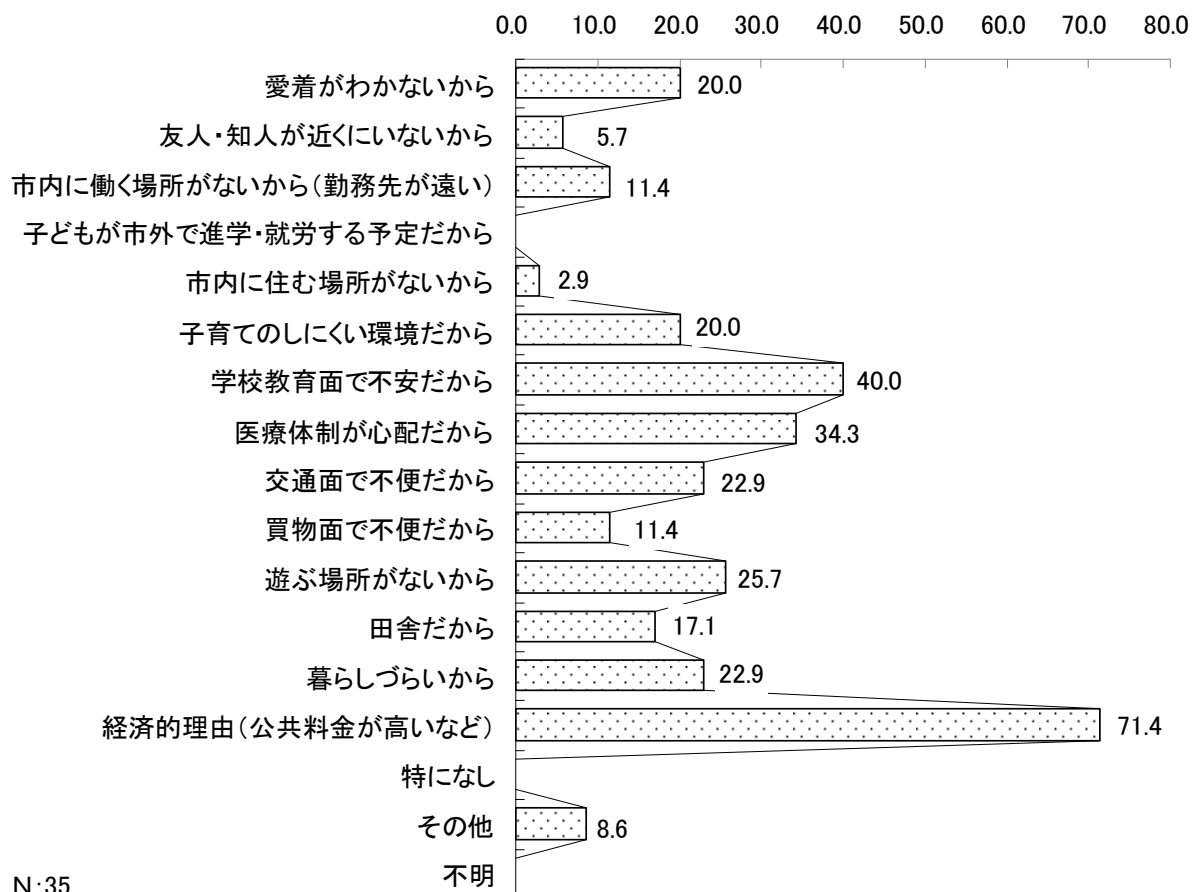
■ 居住年数別加西市への定住意向（クロス集計）

居住年数別に加西市への定住意向をみると、「20年以上」で53.7%と半数を超えています。



### 問 38-1 住み続けたいと思わない理由

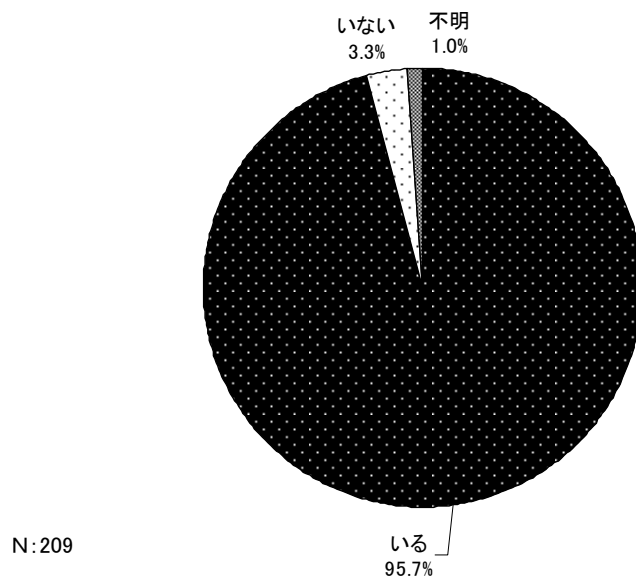
住み続けたいと思わない理由をみると、「経済的理由（公共料金が高いなど）」71.4%が最も多く、次いで「学校教育面で不安だから」40.0%、「医療体制が心配だから」34.3%、「遊ぶ場所がないから」25.7%の順となっています。





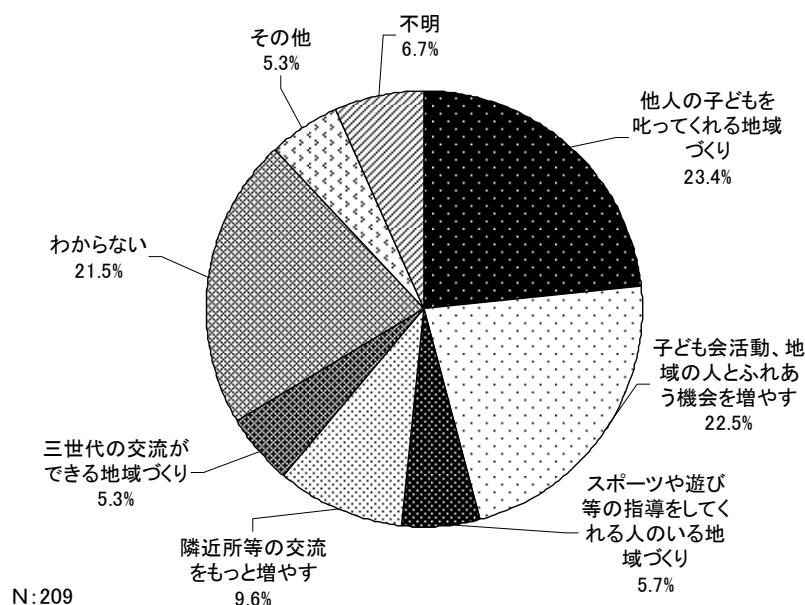
### 問39 子育てに関する悩みや不安の相談相手の有無

子育てに関する悩みや不安の相談相手の有無をみると、「いる」95.7%が最も多く、次いで「いない」3.3%の順となっています。



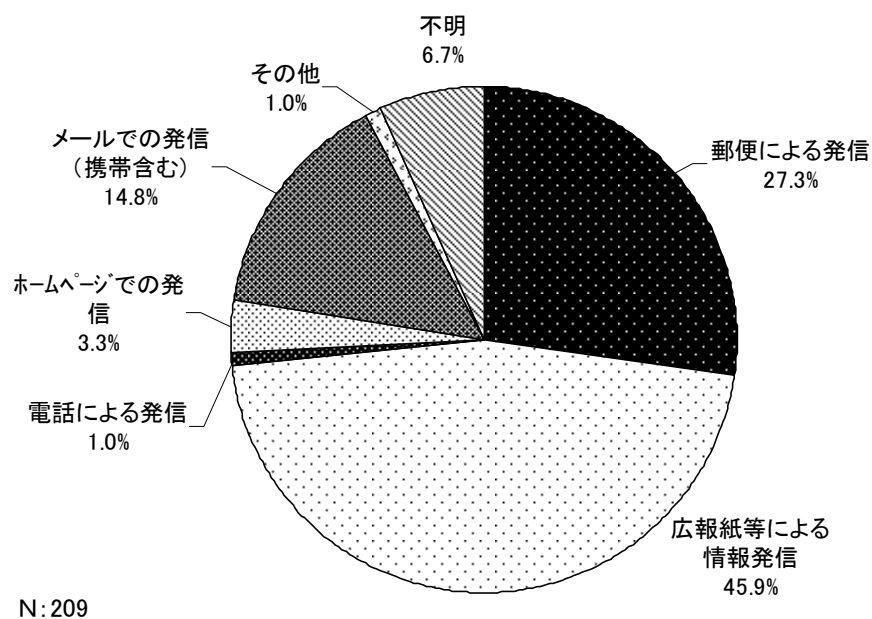
### 問40 子育てで、どのような地域づくりが大切だと思うか

子育てで、どのような地域づくりが大切だと思うかをみると、「他人の子どもを叱ってくれる地域づくり」23.4%が最も多く、次いで「子ども会活動、地域の人とふれあう機会を増やす」22.5%、「わからない」21.5%、「隣近所等の交流をもっと増やす」9.6%、「スポーツや遊び等の指導をしてくれる人のいる地域づくり」5.7%の順となっています。



#### 問41 加西市が行う子育て支援対策の情報発信の媒体（手法）

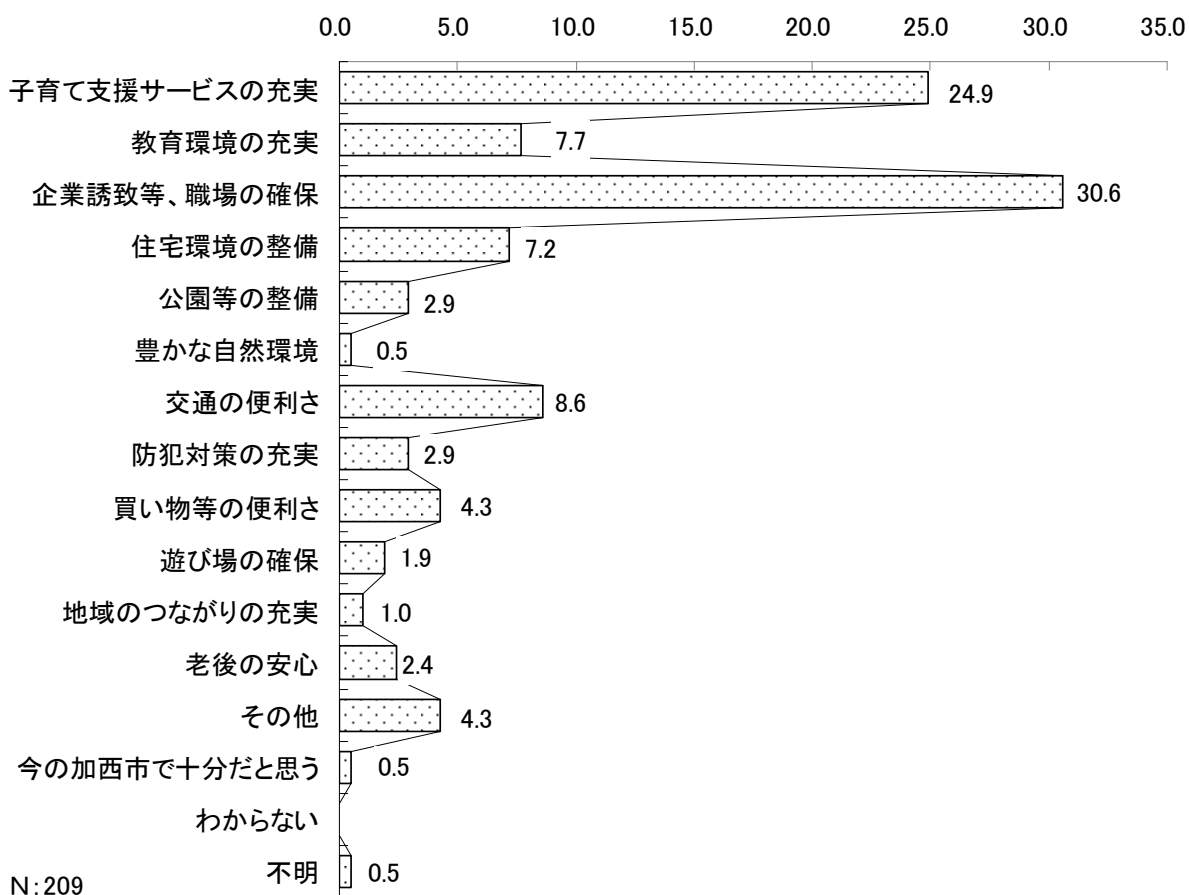
加西市が行う子育て支援対策の情報発信についてみると、「広報紙等による情報発信」45.9%が最も多く、次いで「郵便による発信」27.3%、「メールでの発信（携帯含む）」14.8%の順となっています。



問42 今後、若者が定住する為に必要だと思う取り組み

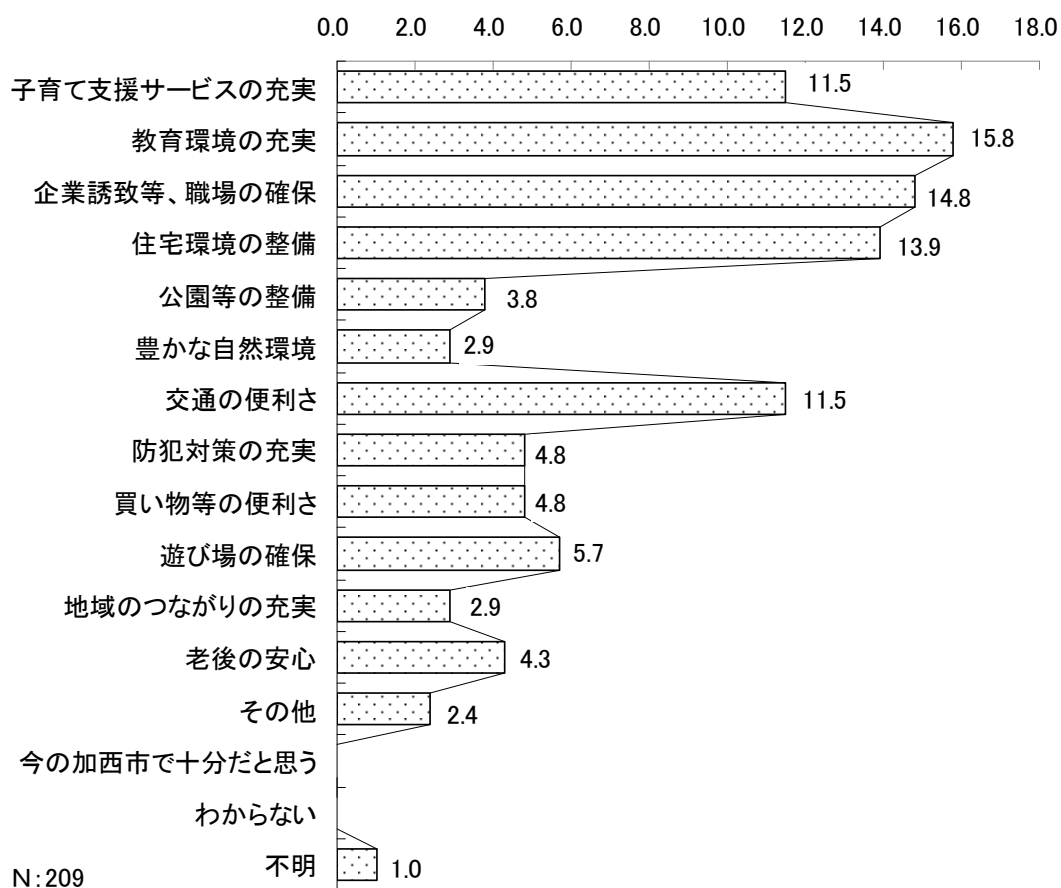
【1位】

若者が安住する為に必要だと思う取り組みについてみると、「企業誘致等、職場の確保」30.6%が最も多く、次いで「子育て支援サービスの充実」24.9%、「交通の便利さ」8.6%、「教育環境の充実」7.7%の順となっています。



【2位】

若者が安住する為に必要だと思う取り組みについてみると、「教育環境の充実」15.8%が最も多く、次いで「企業誘致等、職場の確保」14.8%、「住宅環境の整備」13.9%、「子育て支援サービスの充実」、「交通の便利さ」11.5%の順となっています。



【3位】

若者が安住する為に必要だと思う取り組みについてみると、「教育環境の充実」16.3%が最も多く、次いで「老後の安心」13.4%、「企業誘致等、職場の確保」11.0%、「買い物等の便利さ」9.1%の順となっています。

